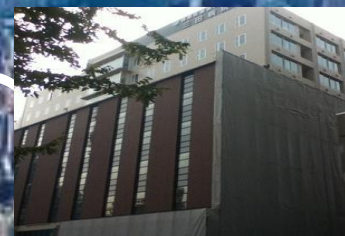


在宅医療まったなし！

～新たな薬局薬剤師の役割～



国際医療福祉大学大学院教授
武藤正樹

目次

- パート1
 - 社会保障・税の一体改革
- パート2
 - 医療計画見直しと薬剤師
- パート3
 - 診療報酬改定と薬剤師
- パート4
 - 退院時ケアカンファレンスと地域連携パス
- パート5
 - 在宅終末期ケア連携とICT



パート1

社会保障と税一体改革



2025年へ向けて、医療・介護のグランドデザインの議論
社会保障制度改革国民会議(会長 清家慶応義塾大学学長)

社会保障制度改革国民会議 最終報告書(2013年8月6日)



最終報告が清家会長から安倍首相に提出

社会保障制度改革国民会議改革案

| | 改革案 | 法案提出メド |
|--------------|---|--------------|
| 医療 | 70～74歳の自己負担2割に上げ | 2014年度以降段階実施 |
| | 高額療養費の負担上限上げ | 2014年度にも実施 |
| | 医療提供体制見直し | 2014年通常国会に法案 |
| | 大企業健保の負担増 | 15年通常国会に法案 |
| | 国保の都道府県移管 高所得者の保険料上げ | 2017年度までに実施 |
| 介護 | 軽度者へのサービスを市町村に 高齢者対象に自己負担上げ 特養の軽度者の入所制限 | 2014年通常国会に法案 |
| | 年金支給開始年齢の引き上げ | 中長期で検討 |
| 年金・少子化 対策 | 待機児童対策 | 2014年度まで |

社会保障制度改革国民会議 報告書より

• II 医療・介護分野の改革

介護ニーズと医療ニーズを併せ持つ高齢者を地域で確実に支えていくためには、訪問診療、訪問口腔ケア、訪問看護、訪問リハビリテーション、**訪問薬剤指導などの在宅医療が、不可欠である。**

社会保障・税一体改革(8月10日)

消費税関連法案国会通過

- 8月10日に社会保障と税の一体改革関連法案が参院本会議で賛成多数で可決した。
- 現在5%の消費税率を14年に8%、15年に10%に引き上げることなどを盛り込んだ。
- その背景は…
団塊世代の高齢化と、激増する社会保障給付費問題

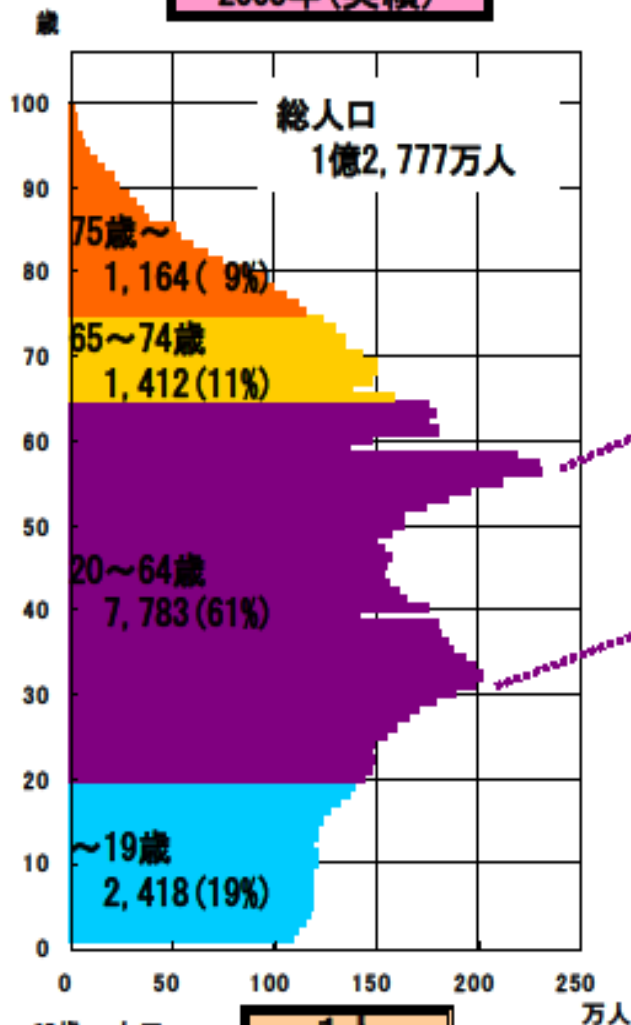


2012年8月10日、参議院を通過

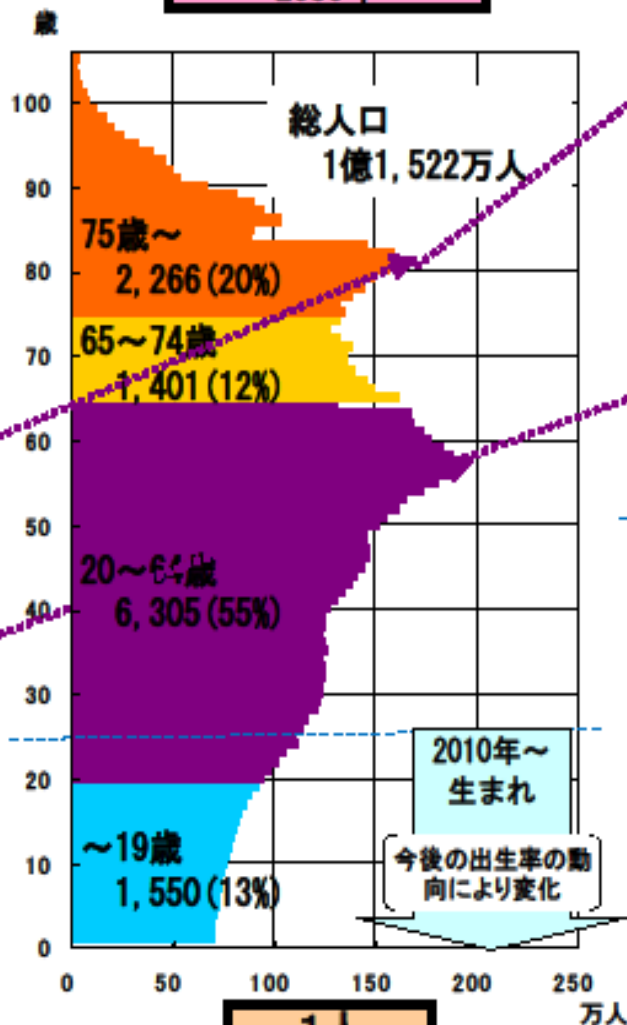
人口ピラミッドの変化(2005, 2030, 2055) - 平成18年中位推計 -

○ 我が国の人口構造の変化を見ると、現在1人の高齢者を3人で支えている社会構造になっており、少子高齢化が一層進行する2055年には1人の高齢者を1.2人で支える社会構造になると想定される。

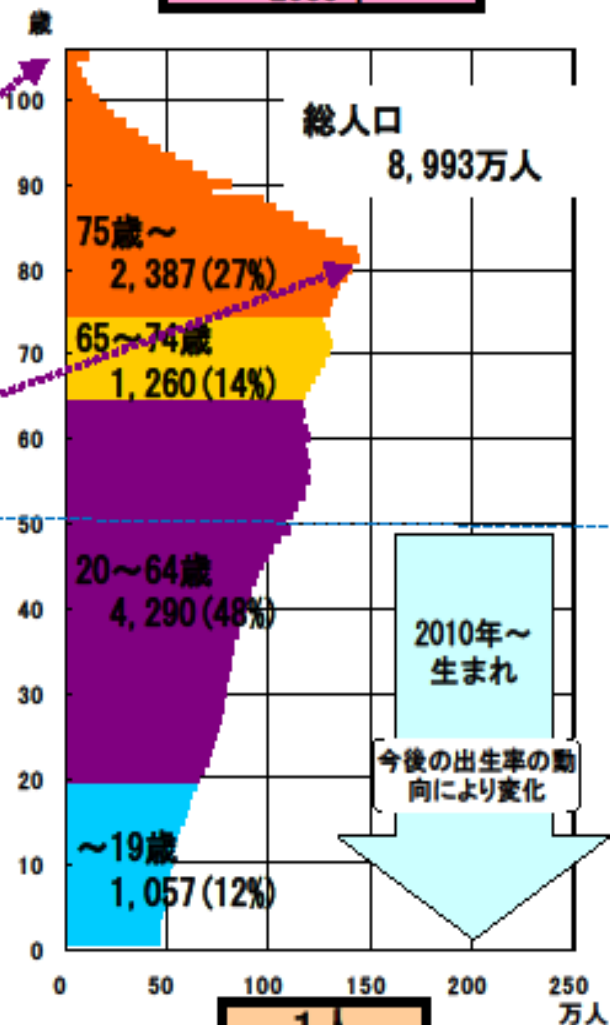
2005年(実績)



2030年



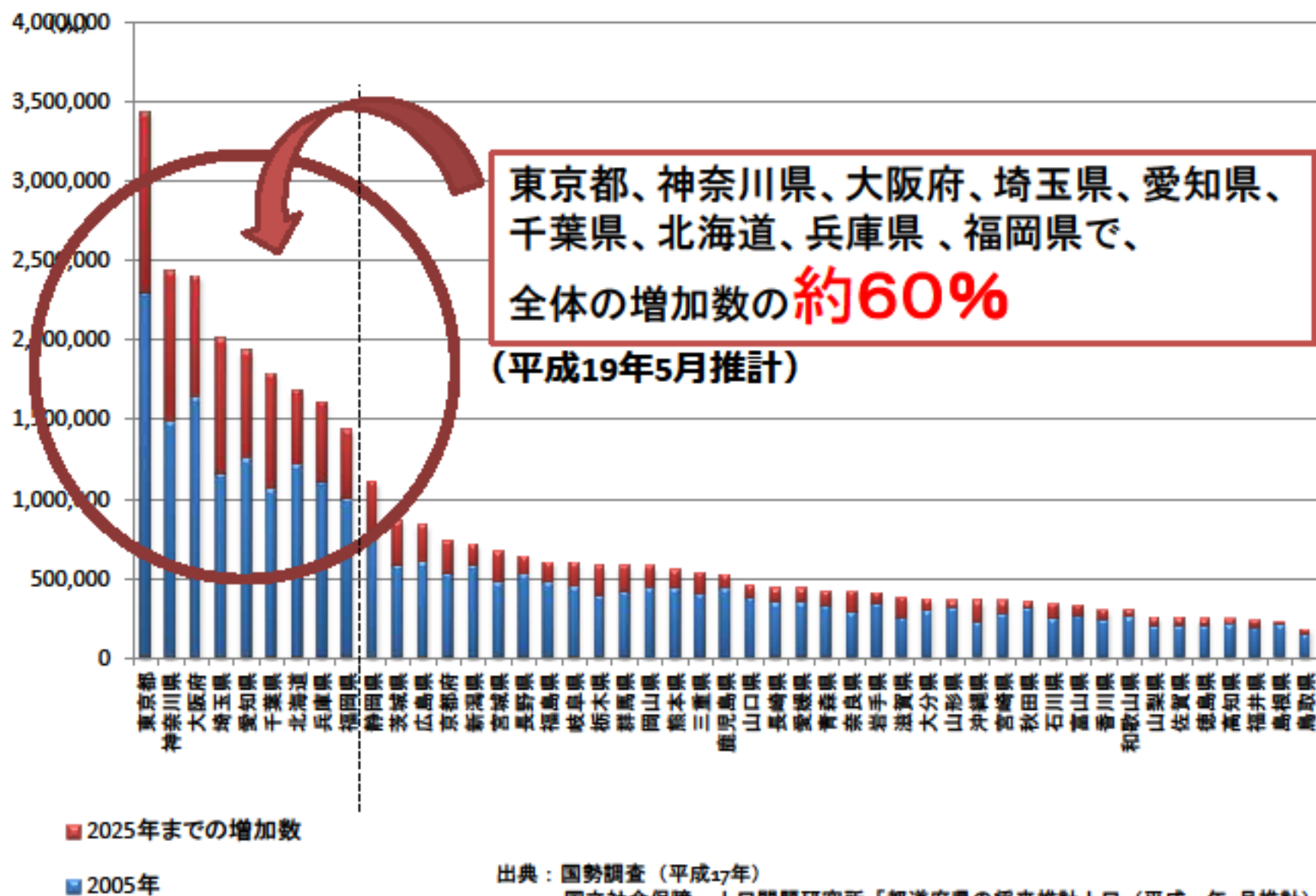
2055年



注:2005年は国勢調査結果(年齢不詳按分人口)。

出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」(出生中位・死亡中位)

都道府県別高齢者人口(65歳以上)の増加数 (2005年 → 2025年)



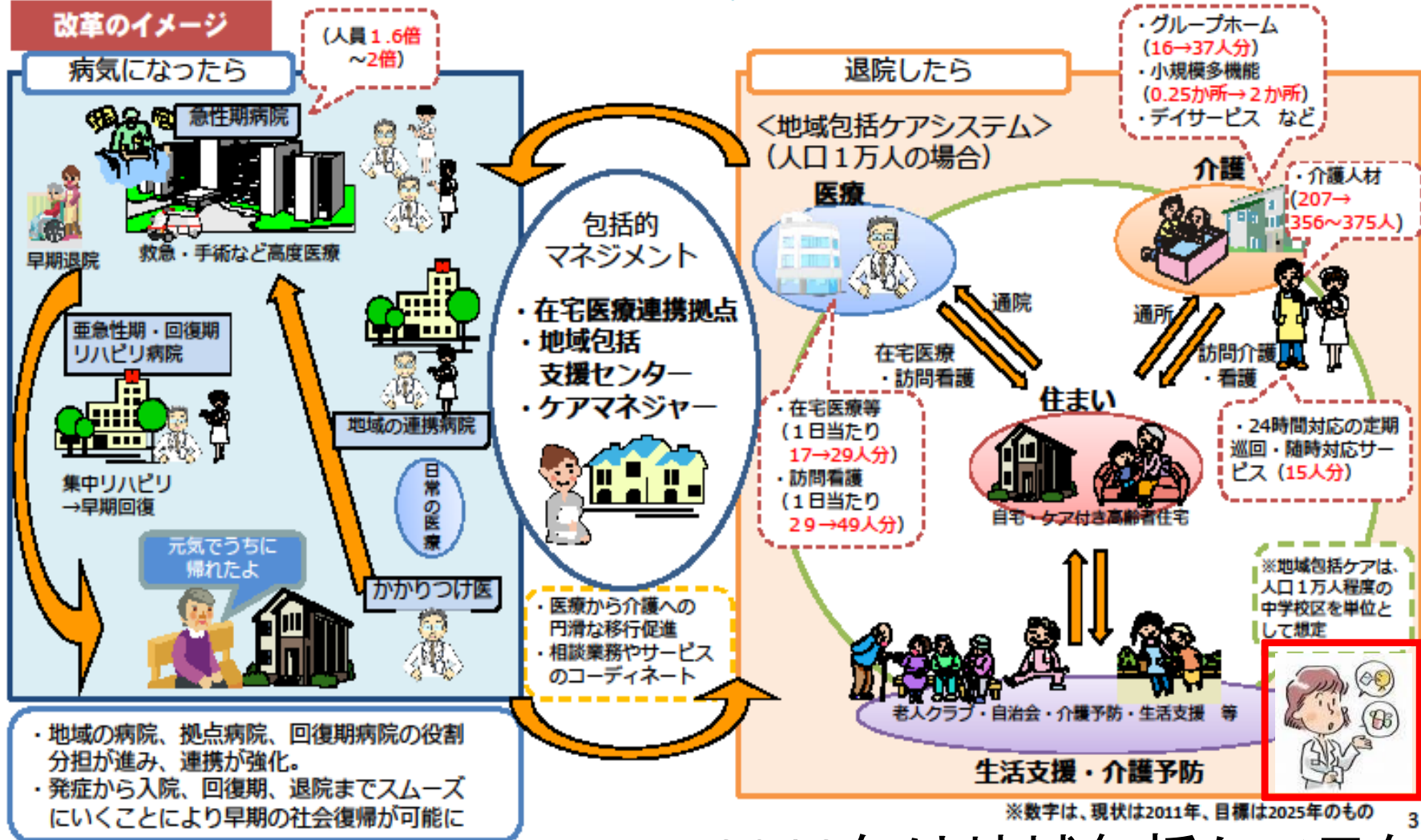
改革の方向性 ②

医療・介護サービス保障の強化

- 高度急性期への医療資源集中投入などの入院医療強化
- 在宅医療の充実、地域包括ケアシステムの構築

どこに住んでいても、その人にとって適切な医療・介護サービスが受けられる社会へ

改革のイメージ



- ・地域の病院、拠点病院、回復期病院の役割分担が進み、連携が強化。
- ・発症から入院、回復期、退院までスムーズにいくことにより早期の社会復帰が可能に

薬局薬剤師

2012年は地域包括ケア元年

診療報酬における社会保障改革の実現に向けたスケジュール(粗いイメージ)

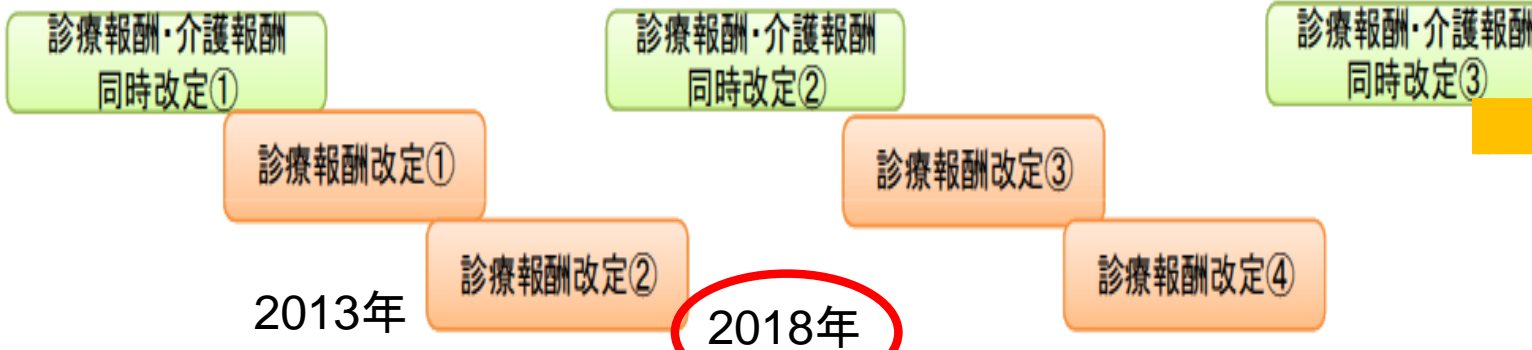
2012年 2014年 2016年 2018年 2020年 2022年 2024年 2025年



方向性

- ① 医療機関の機能の明確化と連携の強化
- ② 医療機関と在宅/介護施設との連携強化
- ③ 医療提供が困難な地域に配慮した医療提供体制の構築

報酬改定



医療計画

医療計画 (2013年) 医療計画 (2018年) 医療計画 (2023年) 医療計画 (2025年)

介護保険事業計画

介護保険事業計画 (2013年) 介護保険事業計画 (2014年) 介護保険事業計画 (2016年) 介護保険事業計画 (2018年) 介護保険事業計画 (2020年) 介護保険事業計画 (2022年) 介護保険事業計画 (2024年)

医療介護のあるべき姿

パート2

医療計画見直しと薬剤師



2006年6月第5次医療法改正 地域医療計画の見直し



医療計画は医療提供体制の基本計画

4疾患5事業

- 4疾病

- ①がん
- ②脳卒中
- ③急性心筋梗塞
- ④糖尿病

- 5事業

- ①救急医療
- ②災害医療
- ③へき地医療
- ④周産期医療
- ⑤小児医療

第5次医療法改正で
保険薬局も大きく役割が変わった！

「医療提供施設」としての保険薬局

●改正医療法の第1条の2

「病院、診療所、介護老人保健施設、調剤を実施する薬局その他医療を提供する施設」とし、「調剤を実施する薬局」を、初めて「医療提供施設」と明記した

●これまでの経緯

- 前回97年の第4次医療法改正時は、薬局に関しては、「医薬分業の推進」が地域医療計画の「任意記載事項」として盛り込まれたただけにとどまっていた。
- 今回の医療法改正は保険薬局の機能にとっては画期的ともいえる改正

医療計画作成指針(07年7月通知)

• 「薬局の役割」

- 医療計画の「4疾病・5事業にかかる医療連携体制の中で、調剤を中心とした医薬品や医療・衛生材料の供給拠点としての役割を担うことが求められる」
- 「都道府県においては、医療機関と薬局の機能分担および業務の連携によって、時間外においても対応できることなどを計画に記載することにより、患者や住民に対し分かりやすい情報提供の推進を図る」
- 医療計画の案の作成の段階から、都道府県は「調剤に関する学識経験者の団体」すなわち都道府県の薬剤師会の意見を聞かなければならないと規定された。

医療計画と保険薬局



• 日本薬剤師会 山本信夫前副会長

- 「これまでの医療計画には、薬局は医薬分業としての機能しか含まれていなかった。しかし医療法改正で、薬局が医療提供施設となったことによって、医療計画の中の医療提供施設といえば全てに薬局が含まれるものと認識している」
- 「4疾病・5事業への参加については、急性期医療に関しては難しいが、それ以外の癌、糖尿病、脳卒中などすべての疾病に対して、医薬品の供給という面で関与できるだろう」
- 「また5事業については、災害時における医療には既に取り組んでいる。さらにへき地医療は今後検討すべき課題になる」
- 「在宅医療の観点では、薬剤師の出番はたくさんある」。

在宅医療における薬剤師の役割・課題・取り組み

役割

処方せんに基づき患者の状態に応じた調剤（一包化、懸濁法、麻薬、無菌調剤）
患者宅への医薬品・衛生材料の供給
薬歴管理（薬の飲み合わせの確認）
服薬の説明（服薬方法や効果等の説明、服薬指導・支援）
服薬状況と保管状況の確認（服薬方法の改善、服薬カレンダー等による服薬管理）
副作用等のモニタリング
在宅担当医への処方支援（患者に最適な処方（剤型・服用時期等を含む）提案）
残薬の管理、麻薬の服薬管理と廃棄
ケアマネジャー等の医療福祉関係者との連携・情報共有
医療福祉関係者への薬剤に関する教育

在宅医療への医療材料の提供

在宅患者への最適かつ効率的で安全・安心な
薬物療法の提供

残薬の確認と整理の実例

長野県薬剤師会 事例

残薬薬剤費
400億円



患者Aさん(女性)

複数科を受診。多剤服用。訪問介護員は入っているが、薬は自己管理にて整理がつかない状態。

A病院(心療内科) 処方薬 7種類

B診療所(内科) 処方薬 4種類

在宅訪問時に驚くほどの飲み残しが出てくることは多い。
残薬整理は訪問初期段階の最重要課題。



【対応】

処方医に疑義照会を行い、A病院とB診療所から交付された処方せんの薬を合わせて一包化し整理。
これにより服用状況も改善。

2013年新たな医療計画がスタートした



医療計画見直し等検討会

- 伊藤 伸一 日本医療法人協会副会長
- 尾形 裕也 九州大学大学院医学研究院教授
- 神野 正博 全日本病院協会副会長
- 齋藤 訓子 日本看護協会常任理事
- 末永 裕之 日本病院会副会長
- 鈴木 邦彦 日本医師会常任理事
- 池主 憲夫 日本歯科医師会常務理事
- 中沢 明紀 神奈川県保健福祉局保健医療部長
- 長瀬 輝誼 日本精神科病院協会副会長
- 伏見 清秀 東京医科歯科大学大学院教授
- 布施 光彦 健康保険組合連合会副会長
- **○武藤 正樹 国際医療福祉大学大学院教授**
- 山本 信夫 日本薬剤師会副会長
- 吉田 茂昭 青森県立中央病院長



第1回検討会
2010年12月17日

4疾患5事業の見直しの方向性

- 4疾病

- ①がん
- ②脳卒中
- ③急性心筋梗塞
- ④糖尿病
- ⑤精神疾患

2次医療圏見直し

- 5事業

- ①救急医療
- ②災害医療
- ③へき地医療
- ④周産期医療
- ⑤小児医療

– * 在宅医療構築
に係わる指針を
別途通知する

在宅医療に係わる医療体制の 充実・強化



「在宅医療指針」

- 国立長寿医療研究センターが中心になって取りまとめた「在宅医療体制構築に係る指針案」を参考にする方針。
 - 24時間365日、患者の生活の視点に立った多職種連携医療の確保
 - 看取りまで行える医療のための連携体制
 - 認知症の在宅医療の推進
 - 介護との連携—などの観点から、各都道府県が地域の実情に合わせて計画を策定すべき

在宅医療に関する医療計画の内容(数値目標)

■数値目標の例(各都道府県の医療計画より)

○北海道

- ・在宅医療を実施する医療機関割合
現状35.2%→目標値38.1%

○山形

- ・主任介護支援専門員研修受講者数
44人(H18)→50人(H24)

○福島

- ・在宅療養支援診療所 148(H18) → 196(H24)
- ・訪問看護ステーション 121(H18) → 128(H24)

- ・保険薬局に占める訪問薬剤管理指導料の届出薬局
76.9%(H18) → 81%(H24)
- ・保険薬局に占める麻薬小売業免許取得薬局の割合
84.1%(H18) → 85.9%(H24)

○茨城

- ・医療機関と連携し在宅医療に取り組む薬局の割合
6%(H18) → 50%(H24)

○東京

- ・医療保健政策区市町村包括補助事業の実施(在宅医療推進に資する事業)
5自治体(H19) → 全市町村(H24)

○山梨

- ・在宅ホスピス連絡体制が整備されている保健福祉事務所圏域の数
1圏域(H18) → 4圏域(H24)

○福井

- ・在宅医療推進のためのコーディネーター設置地区
→5地区(H24)

○福岡

- ・在宅医療を受ける患者数
2100人/1日(H18) → 30%増(H24)

○佐賀

- ・自宅での死亡の割合8.1%(H18) → 12.2%(H24)

○熊本

- ・訪問看護ST数 107(H17) → 120(H24)
- ・訪問看護師の就業者数 429(H18) → 554(H24)
- ・往診や訪問看護を実施する医療機関数
582(H18) → 640(H24)

- ・緊急時24時間対応訪問看護ST割合
24時間対応可能 22.1%(H16) → 30%(H24)
24時間連絡可能 84.2%(H16) → 98.9%(H24)

- ・麻薬小売業免許を取得している保険調剤薬局の割合
82.9%(H18) → 100%(H24)

○沖縄

- ・在宅療養支援診療所(75歳以上人口千人あたり)
0.46(H18) → 0.82(H24)
- ・訪問看護ステーション(人口10万人あたり)
3.7(H18) → 4.5(H24)

パート3

診療報酬改定と薬剤師



2月10日中医協答申

2012年診療報酬改定基本方針

- 社会保障審議会医療部会・医療保険部会（12月1日）
- 2つの重点課題と4つの視点
- 2つの重点課題
 - ①急性期医療の適切な提供に向けた病院勤務医等の負担の大きな医療従事者の負担軽減
 - ②医療と介護の役割分担の明確化と地域における連携体制の強化の推進および地域生活を支える在宅医療などの充実

重点課題1

医療従事者等の負担軽減

病棟薬剤業務実施加算

病棟薬剤業務実施加算 100点(週1回)



薬剤師の病棟における業務に対する評価①

病棟薬剤業務実施加算の算定要件等

(1) 薬剤師が勤務医等の負担軽減等に資する業務を病棟で一定以上実施している場合に対する評価を新設し、勤務医の負担軽減等を図る。

(新) 病棟薬剤業務実施加算 100点(週1回)

[算定要件]

薬剤師が病棟において病院勤務医等の負担軽減及び薬物療法の有効性、安全性の向上に資する薬剤関連業務(病棟薬剤業務)を実施している場合に、週1回に限り所定点数に加算する。ただし、療養病棟又は精神病棟に入院している患者については、入院した日から起算して4週間を限度とする。

病棟薬剤業務

- ・ 当該保険医療機関における医薬品の投薬・注射状況の把握
- ・ 当該保険医療機関で使用している医薬品の医薬品安全性情報等の把握及び周知並びに医療従事者からの相談応需
- ・ 入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案
- ・ 2種以上(注射薬及び内用薬を1種以上含む。)の薬剤を同時に投与する場合における投与前の相互作用の確認
- ・ 患者等に対するハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明
- ・ 薬剤の投与にあたり、流量又は投与量の計算等の実施
- ・ その他、必要に応じ、医政局通知(平成22年4月30日医政発0430第1号)で定める業務 (③、⑥及び⑧を除く)

三田病院の病棟薬剤師



各病棟に薬剤師を配置し、薬に対しての疑問や不安など、入院患者の薬物治療に薬剤師が積極的に関わり、薬の内容や用量、服薬説明、治療効果や副作用の確認などを行っている。

医薬品の医療安全にも貢献

持参薬管理

DPCになってから、
徹底した持参薬管理
が求められる
持参薬が3倍に増えた

7階病棟担当
薬剤師の
石井さん



10.09 10:43

薬剤師の病棟における業務に対する評価②

「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」

(平成22年4月30日医政発0430第1号医政局長通知)(抜粋)

院内CDTM(共同薬物治療マネジメント)

2. 各医療スタッフが実施することができる業務の具体例

(1) 薬剤師

1) 薬剤師を積極的に活用することが可能な業務

以下に掲げる業務については、現行制度の下において薬剤師が実施することができることから、薬剤師を積極的に活用することが望まれる。

- ① 薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更や検査のオーダーについて、医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコールに基づき、専門的知見の活用を通じて、医師等と協働して実施すること。
- ② 薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について、医師に対し、積極的に処方提案すること。
- ③ 薬物療法を受けている患者(在宅の患者を含む。)に対し、薬学的管理(患者の副作用の状況の把握、服薬指導等)を行うこと。
- ④ 薬物の血中濃度や副作用のモニタリング等に基づき、副作用の発現状況や有効性の確認を行うとともに、医師に対し、必要に応じて薬剤の変更等を提案すること。
- ⑤ 薬物療法の経過等を確認した上で、医師に対し、前回の処方内容と同一の内容の処方提案すること。
- ⑥ 外来化学療法を受けている患者に対し、医師等と協働してインフォームドコンセントを実施するとともに、薬学的管理を行うこと。
- ⑦ 入院患者の持参薬の内容を確認した上で、医師に対し、服薬計画を提案するなど、当該患者に対する薬学的管理を行うこと。
- ⑧ 定期的に患者の副作用の発現状況の確認等を行うため、処方内容を分割して調剤すること。
- ⑨ 抗がん剤等の適切な無菌調製を行うこと。

2) 薬剤に関する相談体制の整備

薬剤師以外の医療スタッフが、それぞれの専門性を活かして薬剤に関する業務を行う場合においても、医療安全の確保に万全を期す観点から、薬剤師の助言を必要とする場面が想定されることから、薬剤の専門家として各医療スタッフからの相談に応じることができる体制を整えることが望まれる。

CDTM (共同薬物治療管理)

- CDTMの定義(「米国臨床薬学会(ACCP)の定義」)
 - Collaborative Drug Therapy Management)
 - 「一人以上の医師と薬剤師の間の共同実務契約(CPA)であり、その契約のなかで、資格を付与された薬剤師は、プロトコールとして規定された内容に沿って働き、患者を評価し、薬物治療と関連する臨床検査を指示し、医薬品を投与し、投与計画を選択し、開始し、モニタリングし、継続し、修正するなどの専門的な責務を担うことが許される。」
- 薬剤師の行為、行動の順序を指導し、役割、手続き及び従うべき決定基準を示す(プロトコール)
 - ある一定の状況の下では、薬剤師に処方権や検査オーダー権を移譲することもできる。
 - 薬剤師がワクチン接種を行うところもある。
 - 薬剤師の慢性疾患管理に寄与する
 - 高脂血症、喘息、抗血液凝固、糖尿病、高血圧

CDTM (共同薬物治療管理)

- 1970年代-カリフォルニア州及びワシントン州で制度が樹立
- 1980年代に法案が通過し、薬剤師が医師と共同で作成したプロトコルの基づいて検査オーダーや一部処方をすることも可能になった。
- 2010年現在、CDTMは全米46州とコロンビア特別区で実施され、実施を見送っている州はオクラホマ州、メイン州、アラバマ州、そしてニューヨーク州の4つの州だけとなった。

重点課題2 在宅医療などの連携

医療と介護の連携

在宅医療は究極の連携医療

—病診、診診連携、多職種連携—

- 在宅医療連携



ケアマネジャー

副かかりつけ医
(在宅医療連携医)



かかりつけ医



病院主治医



協力医
(眼科、歯科、
精神科)



看護師、**薬剤師**、栄養士
理学療法士

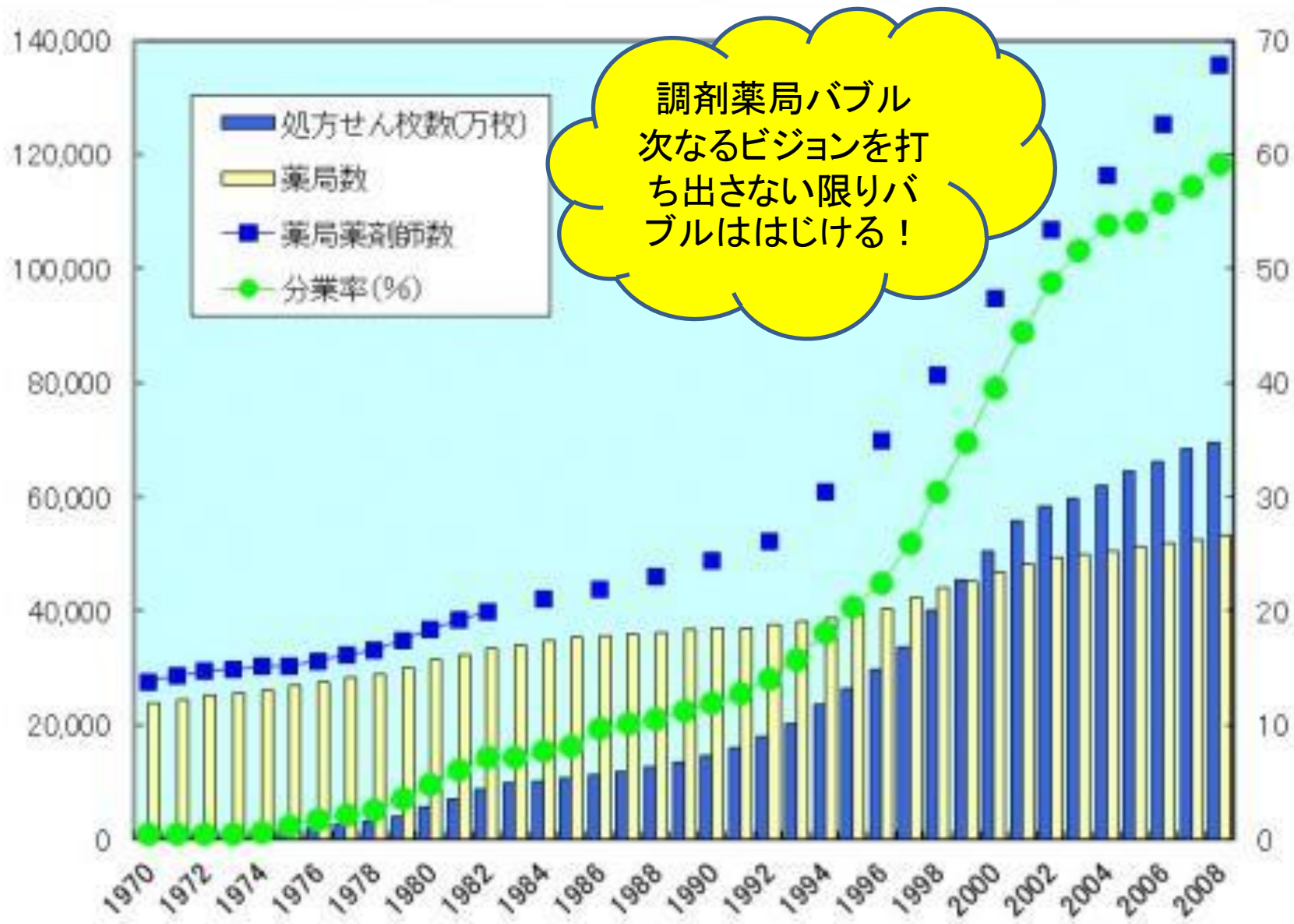
薬局・薬剤師を取り巻く環境変化



薬局・薬剤師を取り巻く環境の変化

- 今日、医薬分業が60%を超え、量的には拡大した。
- 保険薬局数も5万3千軒となった。
- 保険薬局に働く薬剤師も14万人近くになった。
- 薬学教育が6年生となり、薬剤師の臨床薬剤師としての資質の向上も期待されている
- 薬局・薬剤師を取り巻く環境が大きく変化している
- 新たな薬局と薬剤師の役割が求められている

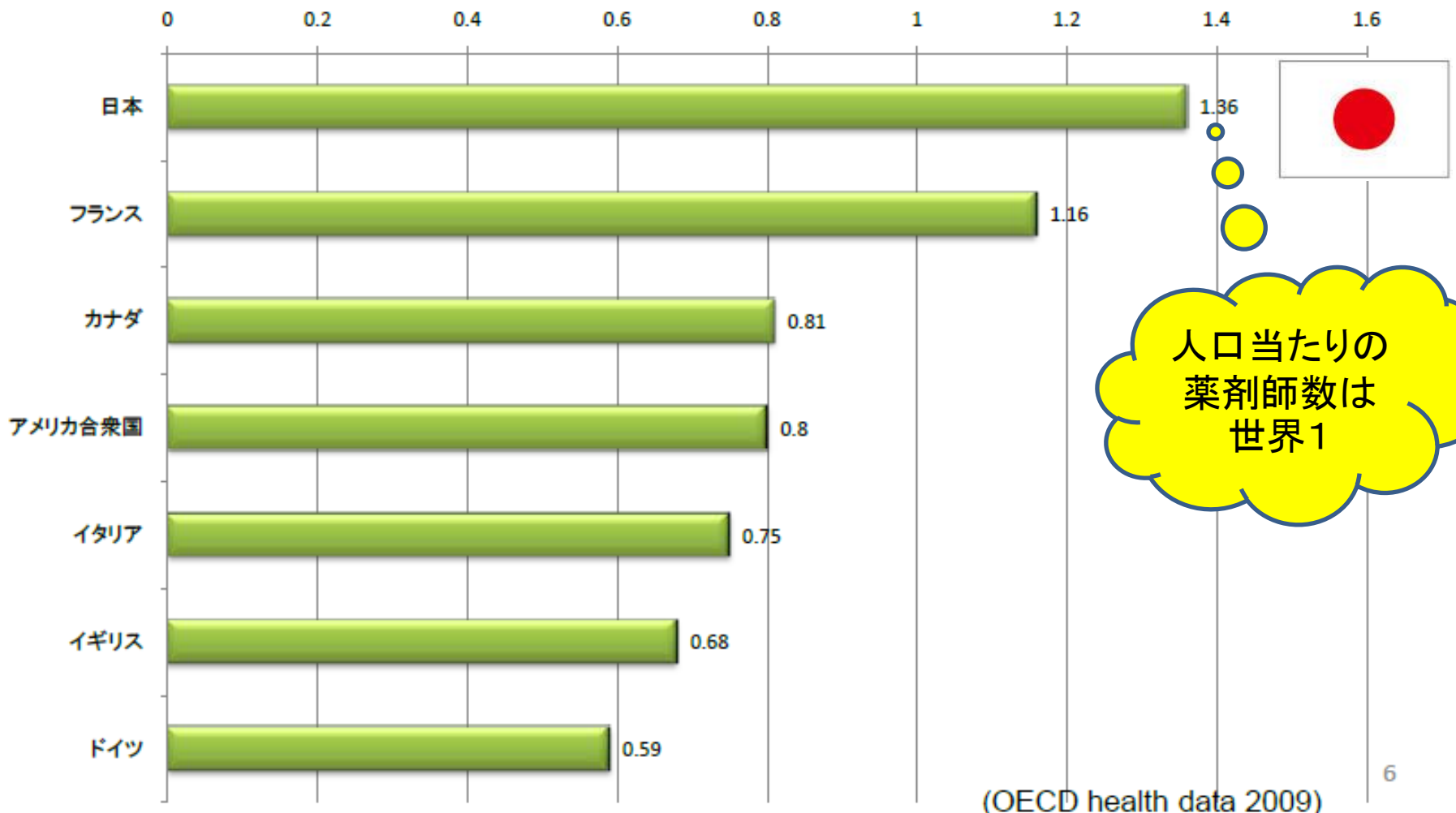
薬局数・薬剤師数・処方箋枚数・分業率の推移



人口あたり就業薬剤師数の国際比較

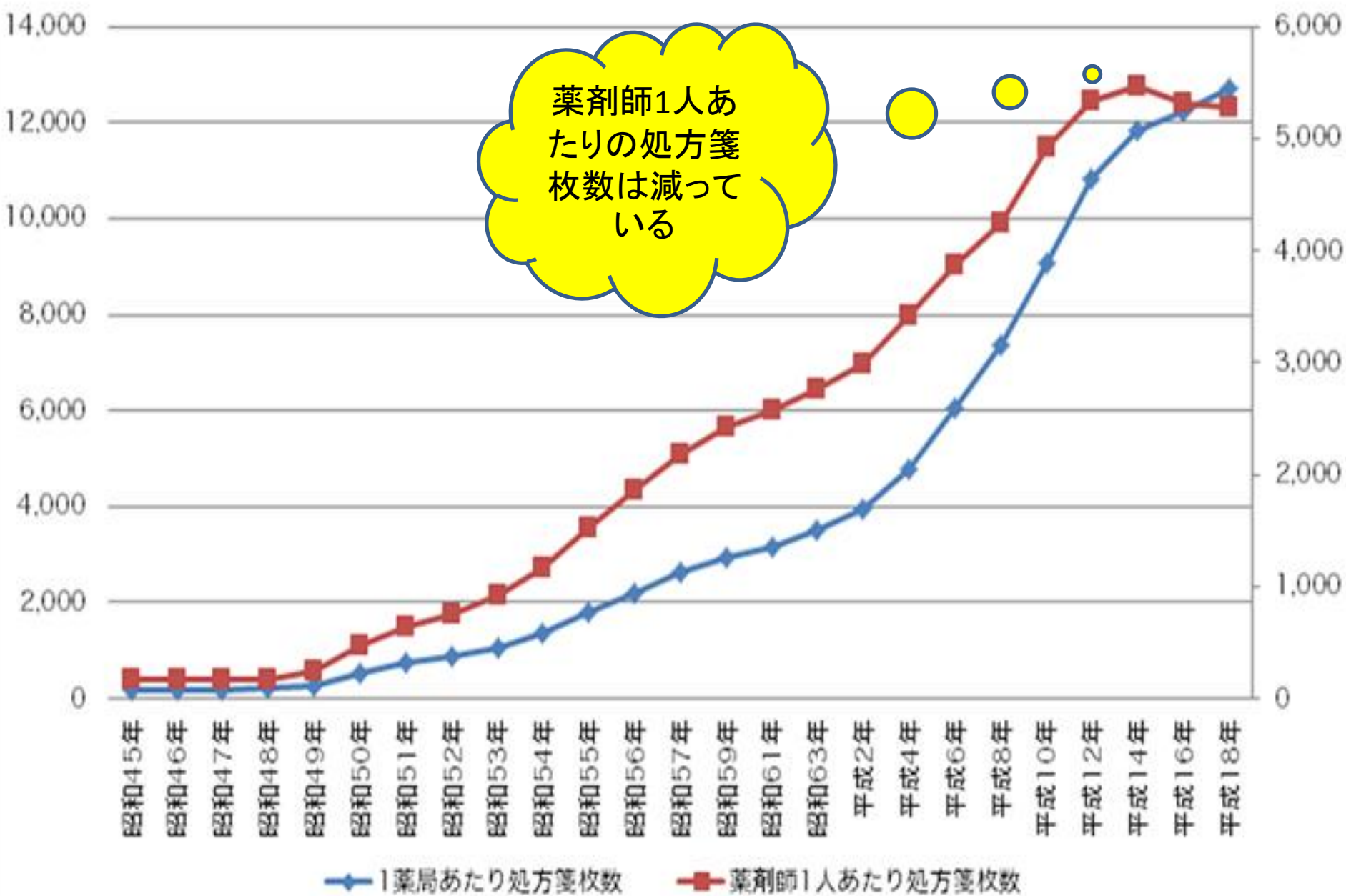
就業薬剤師数は、日本は人口千人当たり1.36人である。
ただし、病院・診療所で就業している薬剤師は人口千人当たり0.38人。

就業薬剤師数(人口千人当たり)(2006年)



人口当たりの
薬剤師数は
世界1

1薬局あたり処方せん枚数と薬剤師1人あたり処方せん枚数



医薬分業に対する批判!

○ 平成14, 15年度健保連「医薬分業による薬剤給付の合理性に関する調査研究事業」報告書

- 「現状では、患者は薬の受取りにあたって利便性を重視している。「かかりつけ薬局」を決めて自身の薬歴を管理してもらうという医薬分業の意義は、患者にはあまり認識されていない。」
- 「総薬剤点数について、院外の方が高く、**医薬分業の実施により薬剤費が減るのではないかとの予測とは一致しない結果**となった。」

○ 四病院団体協議会（四病協）総合部会（平成24年12月）

- 「国が進めてきた医薬分業の効果をきちんと検証すべき」
- 「院内調剤に比べて院外調剤の方が患者負担が高いとの観点から、次期診療報酬改定では**「院外調剤報酬の適正化」**が一つの論点」

医薬分業における今後の課題

- 薬剤師が国民から信認されて医薬分業が進んだのであれば、今後
も着実に進展していくと思うが、医療機関側の経済的要因(薬局か
ら見れば外的要因)で進んだ医薬分業では、早晚衰退してしまうの
ではないか。
- 医薬分業が当たり前のように思っていないか。この10年程度の処方
せんの発行率が伸びていた時代を前提に考えていないか。
- 調剤医療費等が全医療費の中でも大きなものになってきている状
況で、患者・国民に負担を求めるには、その業務の必要性やどの程
度価値があるものか、またどの程度コストがかかるものか、データ
やエビデンスを出していくことが必要。
- 打開策のキーワードは何か？

－薬局：地域医療への貢献

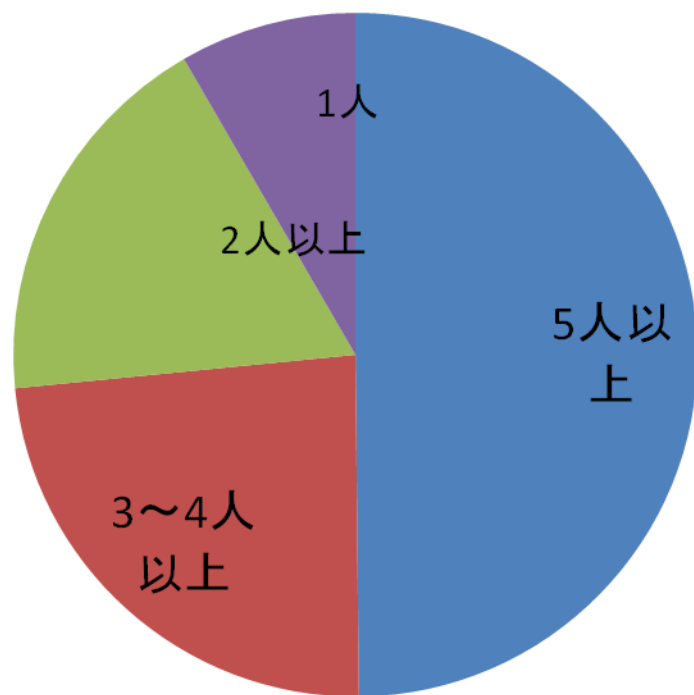
(在宅医療、健康支援拠点としての機能)

－病院薬剤師：チーム医療への貢献

保険薬局の
次世代モデル
とは？

4月に葉山で開業した
タカノ薬局の岡豊香さん

在宅患者訪問薬剤管理指導を 過去1年間に算定した薬局割合は16.2%



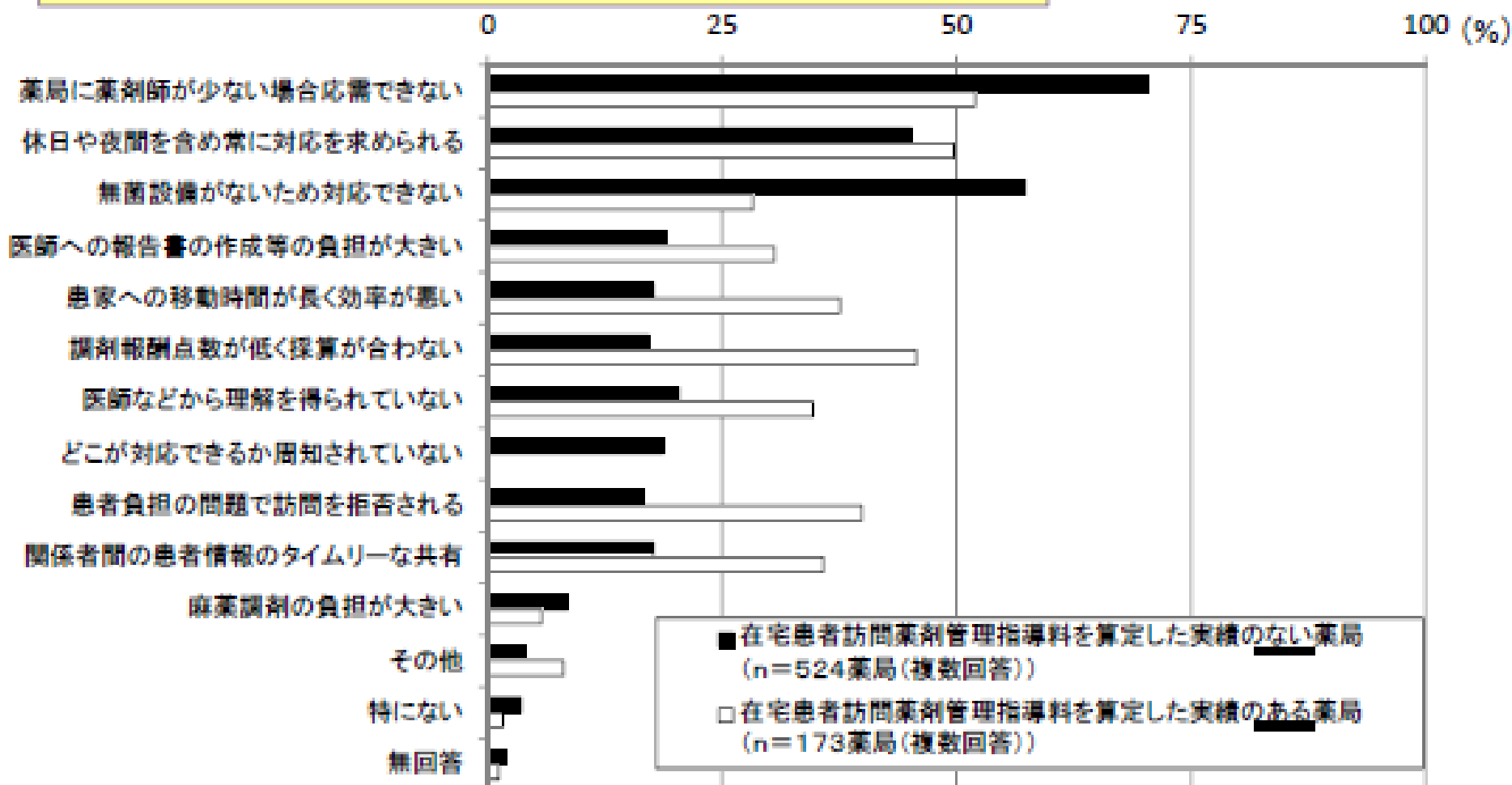
算定薬局の常勤薬剤師数 (%)

- 「薬局のかかりつけ機能に係る実態調査」(厚生労働省委託事業、2012年7月)
 - 2011年9月調査
 - 701件の回答(回答率70%)
 - 在宅患者訪問薬剤管理指導を過去1年間に算定した薬局割合は16.2%

薬局が在宅医療・介護に関わる上での課題

○ 薬局が在宅での薬学的管理指導に積極的に関わっていく上で、多くの課題が指摘されている。

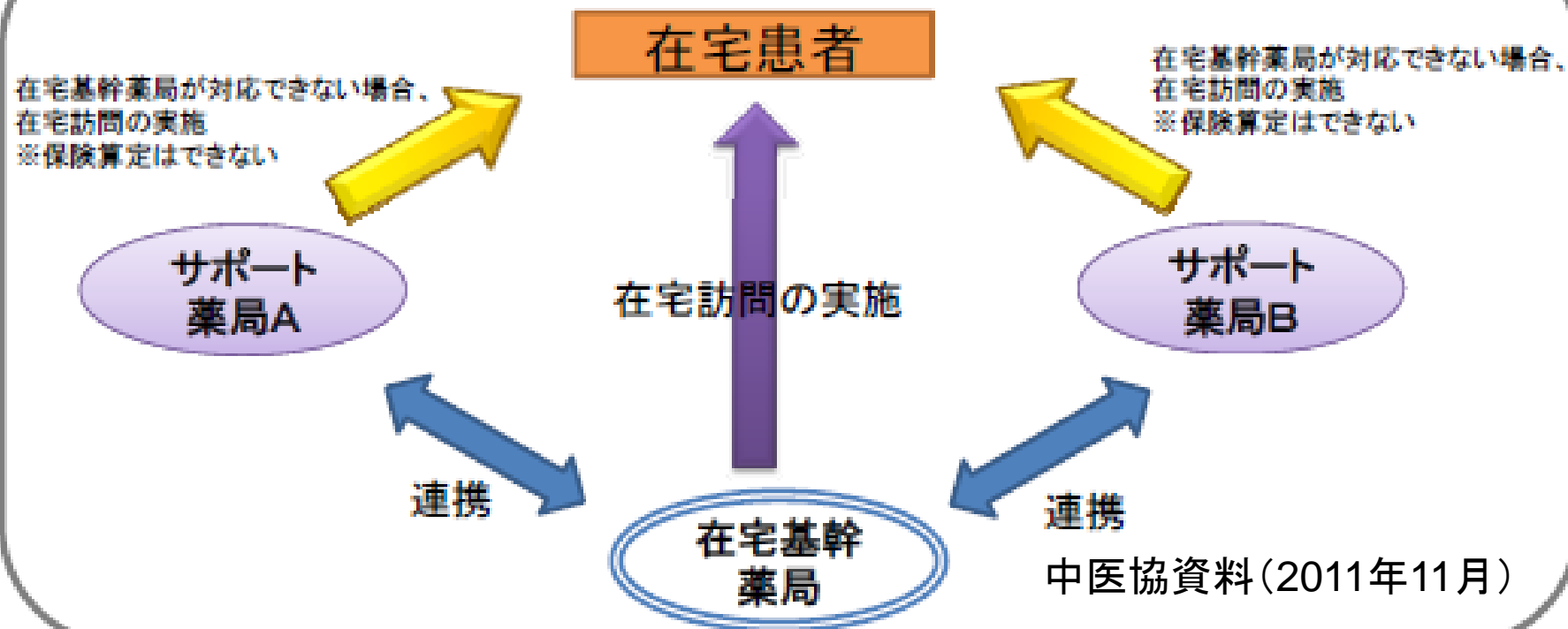
在宅医療・介護における薬学的管理指導を推進していく上での課題



小規模薬局による在宅薬剤管理指導の先進的事例

- 沖縄県北部地区薬剤師会では、小規模薬局が在宅医療・介護に取り組みやすくなるような先進的取り組みが行われている。
- 具体的には、通常は在宅基幹薬局が在宅訪問対応するが、在宅基幹薬局が対応できない場合には、患者情報を共有の上、連携するサポート薬局が在宅訪問を実施して対応している。

沖縄県北部地区薬剤師会における先進的事例(イメージ)



薬局における無菌調剤について③

- クリーンベンチ等の中には、大きなスペースの必要がない小型(卓上型)のものもある。
- このような中、薬局の広さや構造上の問題から、現行の施設基準では、不都合が生じている事例もある。

<標準キャビネット型>



<卓上型>



無菌調剤の実施に係る問題

n=95薬局(複数回答)



中医協資料(2011年11月)

出典)平成23年度
厚生労働省
保険局医療課
委託調査 18

在宅薬剤管理指導業務の一層の推進 (2012年改定)

在宅業務に対する新規評価

在宅業務を推進するため、過去の実績も考慮した施設基準を満たす薬局が、在宅患者向けに調剤した場合の加算を新設する。

(新) 在宅患者調剤加算 15点(処方せん受付1回につき)

小規模薬局間の連携による在宅業務の評価

かかりつけ薬局が対応できない場合に、あらかじめ連携しているサポート薬局が臨時に在宅訪問対応できるよう、制度を見直す。*

※ 現行では、薬局単独で実施した場合のみ算定可能。改定後は、サポート薬局が実施した場合であっても算定可能。

無菌調剤に係る薬局の負担軽減

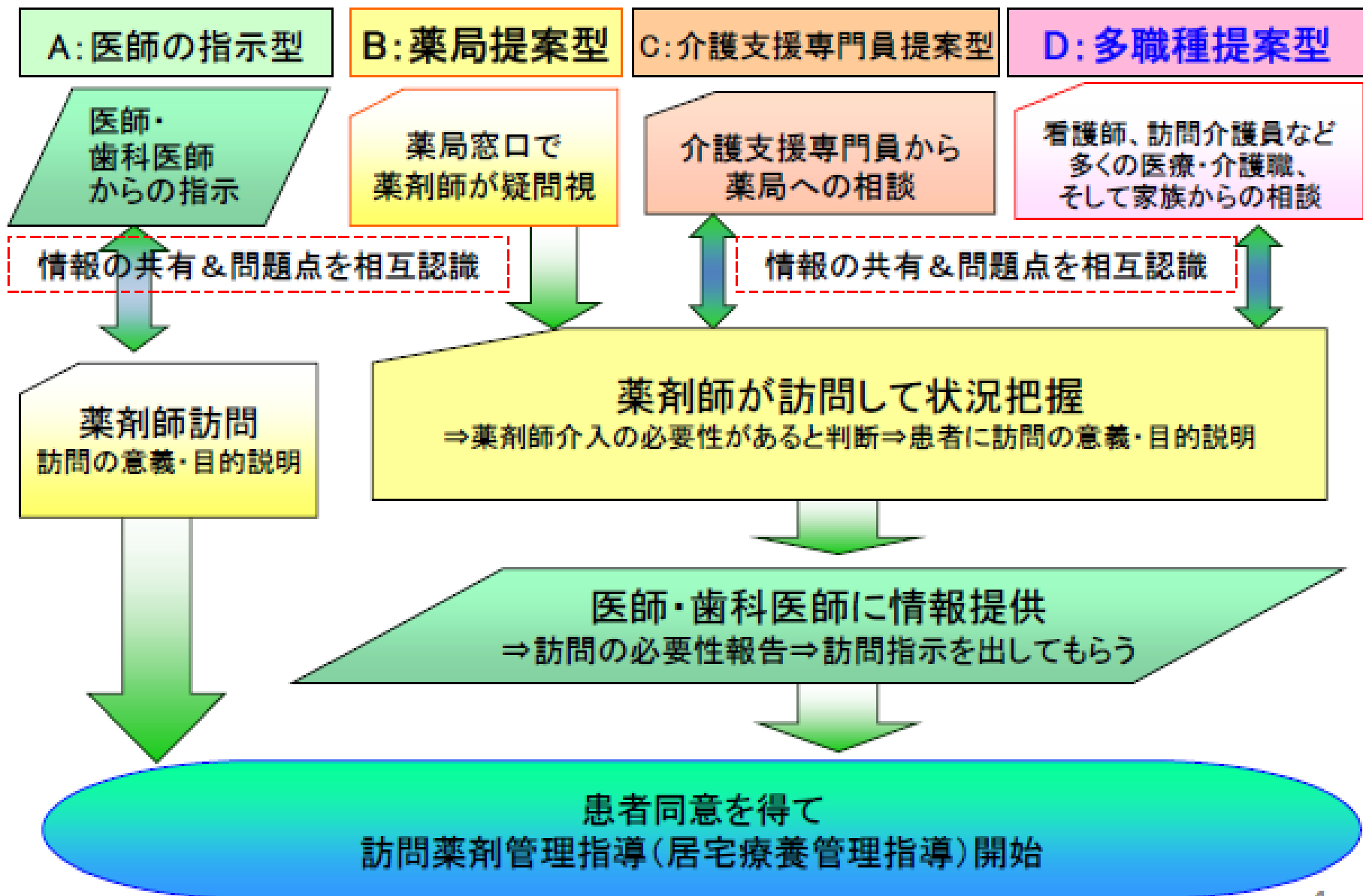
無菌調剤に関する施設基準を合理的に見直す。*

※ 小スペースでも実施可能となるよう、専用の部屋(5平方メートル以上)の施設要件を削除。

在宅訪問可能な距離の目安を設定

患家までの距離が遠い場合は緊急時に患者の不利益も予想されることから、16kmを超える場合には、原則、算定不可とする。

訪問薬剤管理指導の実施に至るパターン



パート4

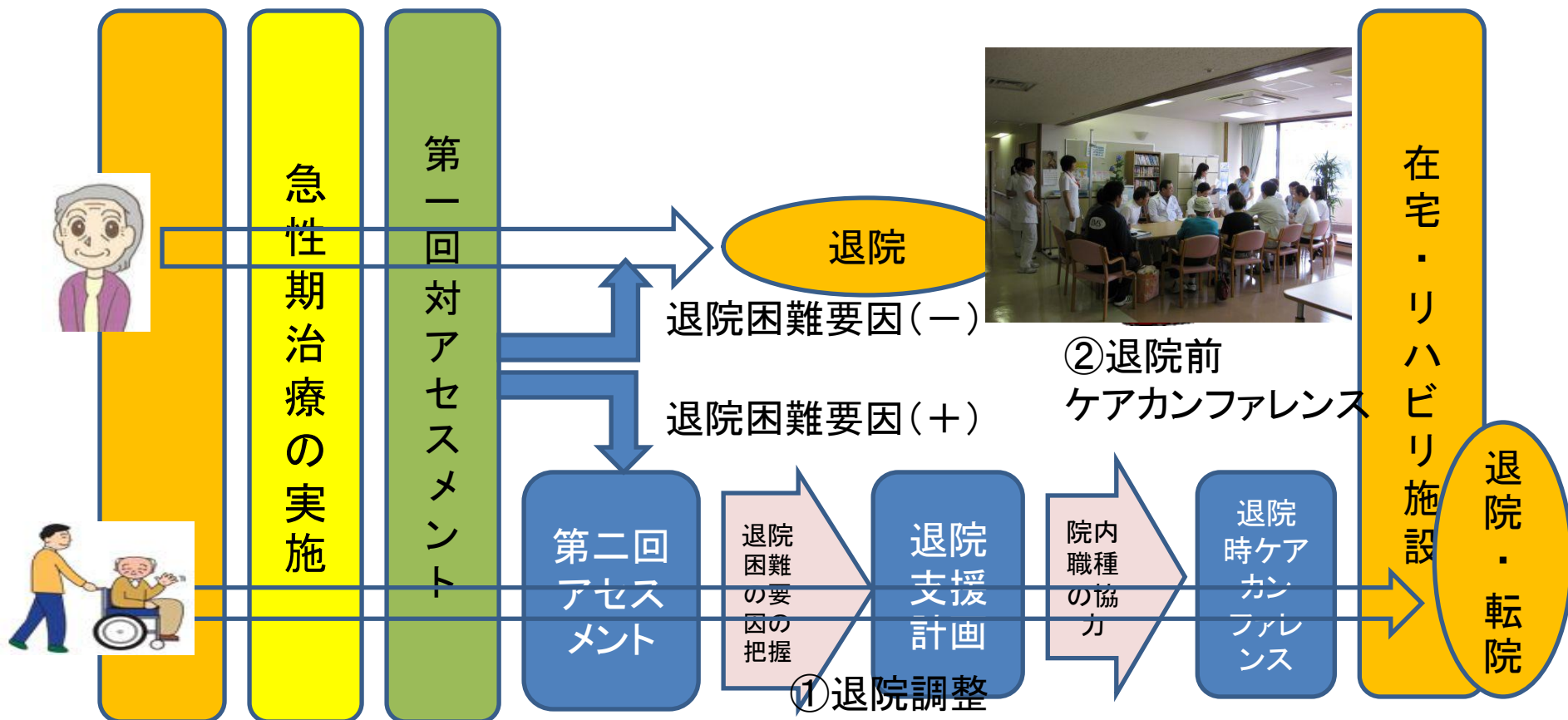
退院時ケアカンファレンスと 地域連携パス

多職種連携に必須ツール

①退院時ケアカンファレンス

入院

退院患者の約6%は退院困難を抱えている



院内クリティカルパス・地域連携クリティカルパス

退院調整の必要な患者

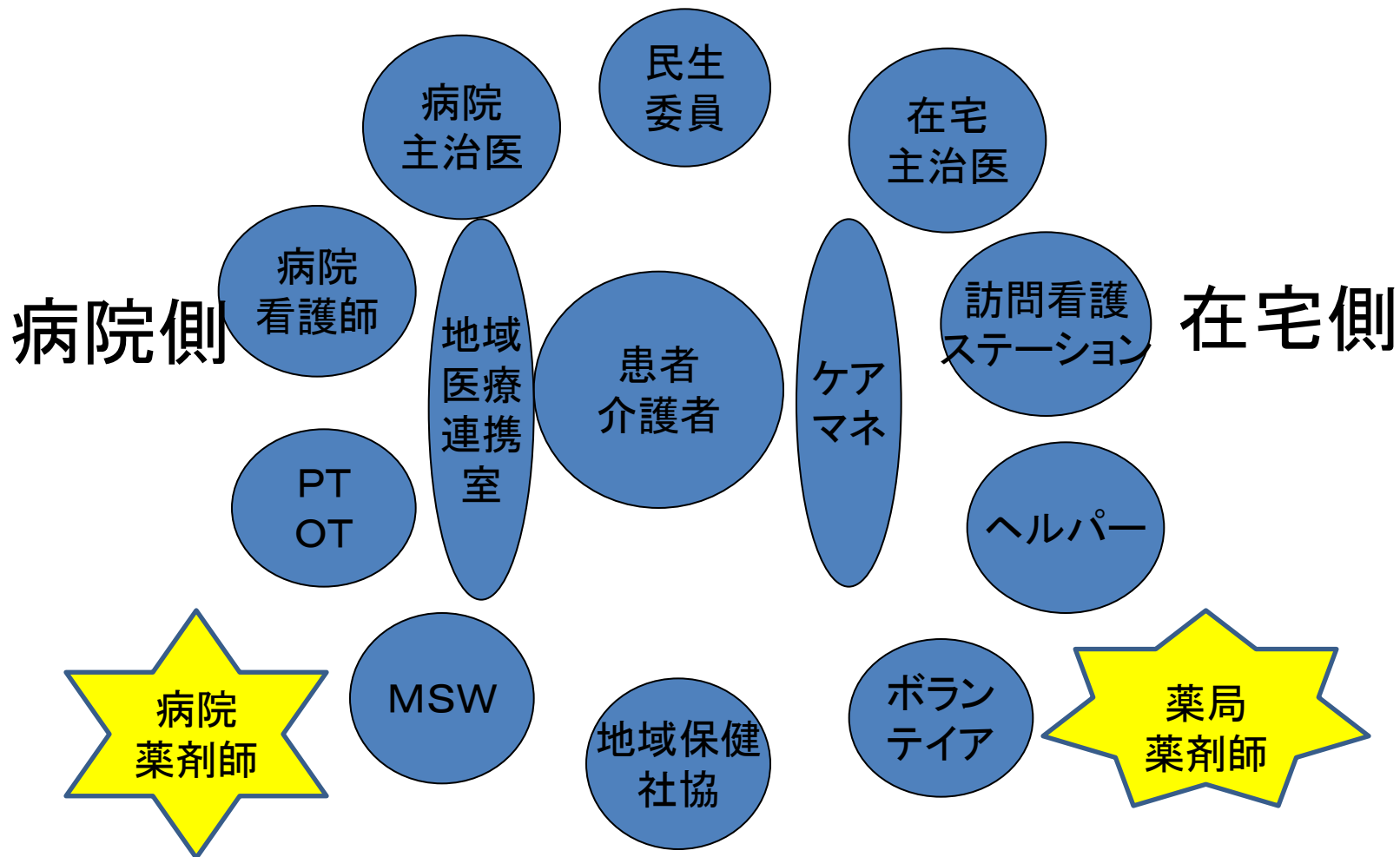
- ①再入院を繰り返している患者
- ②退院後も高度で複雑な継続的医療が必要な患者
- ③入院前にくらべ日常生活動作(ADL)が低下し、退院後の生活様式の再編が必要な患者
- ④独居あるいは家族と同居であっても必要な介護を十分に提供できる状況にない患者
- ⑤現行制度を利用しての在宅への移行が困難あるいは制度の対象外の患者等。
- * 退院調整の必要な患者の出現頻度
 - 平成19年度の厚生労働省の老人保健健康増進等事業の調査によると入院患者の約6.3%

退院時ケアカンファレンスの重要性



～尾道市医師会と尾道市民病院～

退院時ケアカンファレンス



在宅で輸液療法を行う がん患者の退院例

- 直腸がんでFOLFOX療法を在宅で行うAさん
 - 病院で使用している輸液ポンプを在宅でも準備しなければならない
 - 入院中に服用している抗がん剤や麻薬、輸液セットや注射針などの医療材料も在宅で準備する必要がある
 - しかし、病院で使用している薬剤や医療材料がそのまま在宅でも調達可能、使用可能かについては、実際に在宅で患者を担当する在宅主治医や訪問看護ステーションとスタッフと意見交換を行う必要がある
 - 退院時ケアカンファレンスで病院主治医、在宅主治医、病院薬剤師、薬局薬剤師、訪問看護師などが一同に会して患者の情報共有をおこなったり、調達すべき必要な医薬品や医療材料の細かな調整を行う必要がある

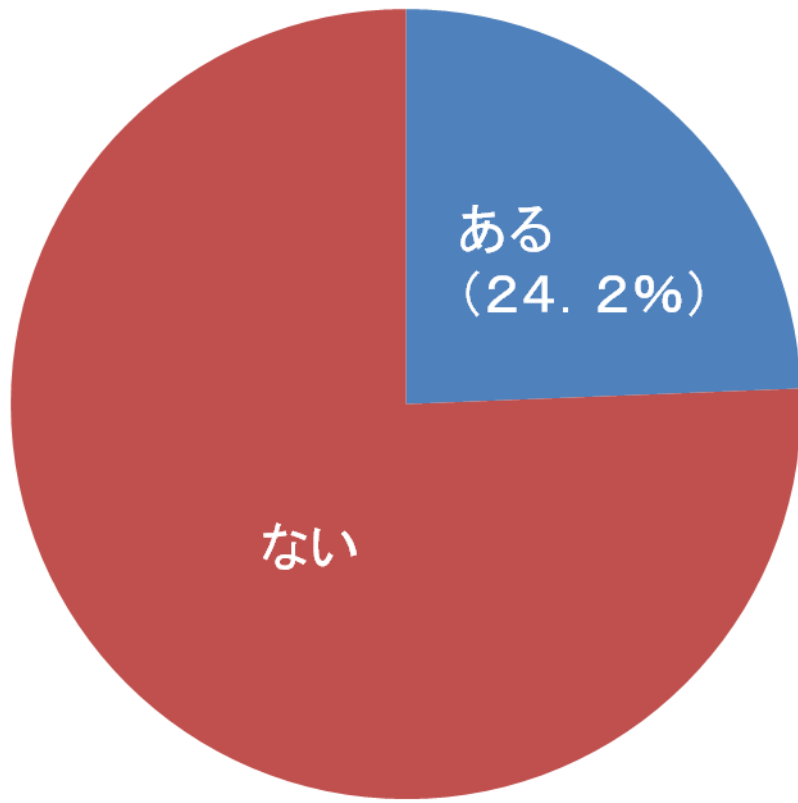
FOLFOXで使う注射薬



退院時共同指導参加

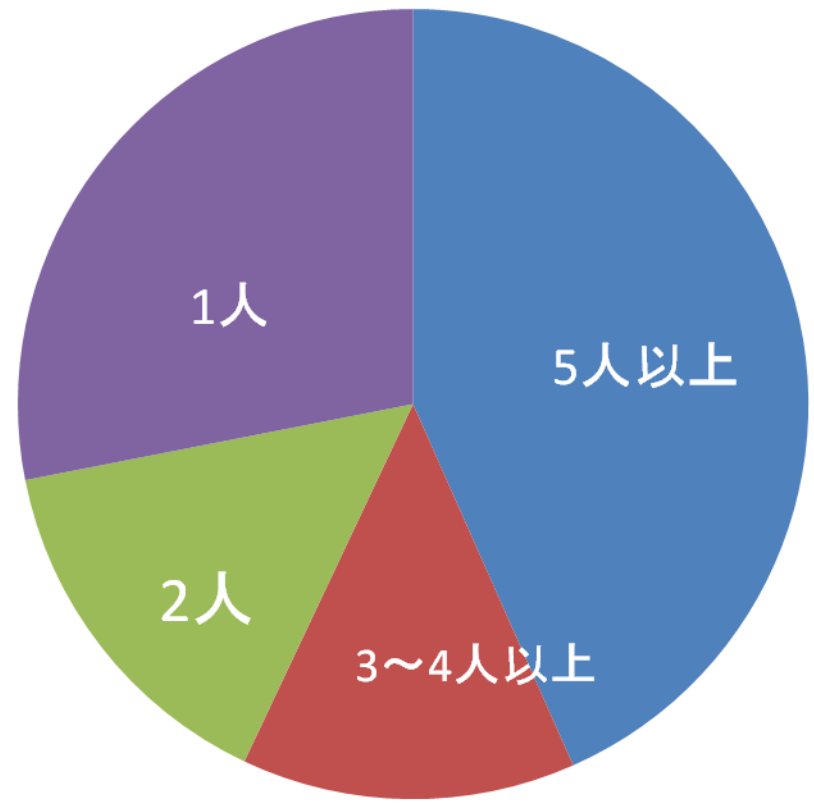
薬局のかかりつけ機能に係る実態調査(2012年7月)

退院時共同指導参加



2011年9月調査

常勤薬剤師数



701件の回答(回答率70%)

在宅への医薬品・医療材料供給

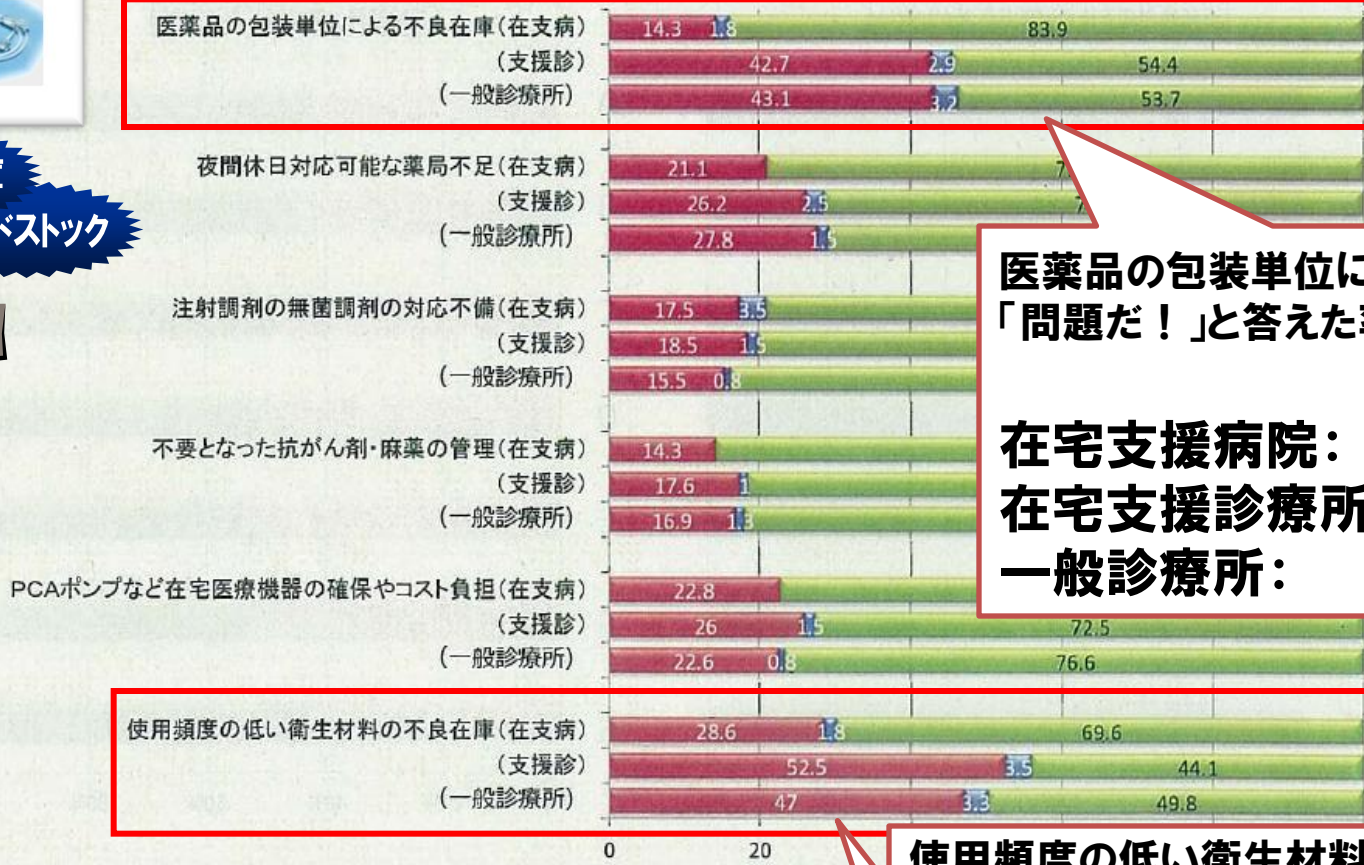
新たな試み「分割販売」

在宅医療を行う上での障害: 効率的な在宅医療への障害①



過剰在庫

テッドストック



医薬品の包装単位による不良在庫
「問題だ!」と答えた率

在宅支援病院: 14.3%
在宅支援診療所: 42.7%
一般診療所: 43.1%

使用頻度の低い衛生材料の不良在庫
「問題だ!」と答えた率

在宅支援病院: 28.6%
在宅支援診療所: 52.5%
一般診療所: 47.0%

在宅医療は診療所、薬局が中心となり患者様一人一人に合わせた医療を行うため新たな問題が生じております。特に効率的な在宅医療を行う上での障害として、半数の診療所が医薬品・医療材料の不良在庫を挙げています。

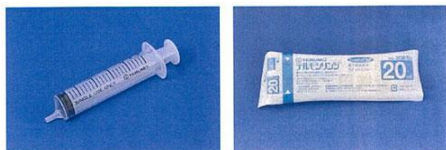
在宅医療を行う診療所・保険薬局へ向け 医薬品・医療材料分割販売

- 医薬品分割販売
 - 錠剤などは1シート単位、塗り薬・目薬などは1本単位から医薬品等を購入できる仕組み
 - 東邦薬品のPFP事業
 - PFPとは”Pharmacy for Pharmacies(薬局のための薬局)
 - 全国約10,000軒以上の保険薬局に商品を発送
 - 取扱品目(医薬品・医療材料)はおよそ4,000品目
- 医療材料の分割販売も2012年12月1日から始まった！
 - 2000品目の医療材料を分割して配送する
- **在宅の物流が変わる！**



在宅医療を支援する豊富な品揃え

● 輸液・輸血



▲シリンジ



▲留置針



▲輸液セット



▲輸液セット



▲ポート用注入針

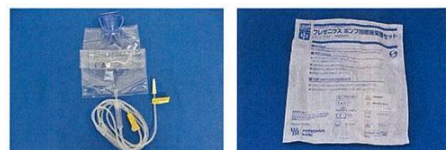
● 経管栄養



▲シリンジ

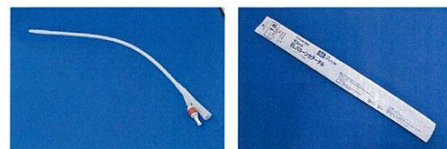


▲栄養セット

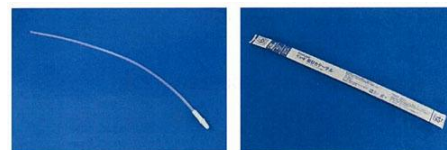


▲栄養セット

● 吸引・排液

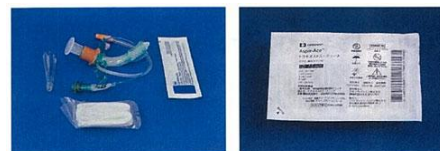


▲バルーンカテーテル



▲吸引カテーテル

● 気道確保

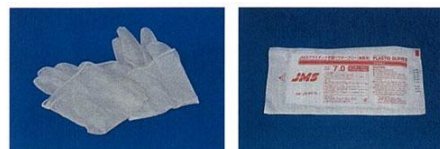


▲気道切開チューブ

● 麻酔 (麻酔器除く)

● 縫合

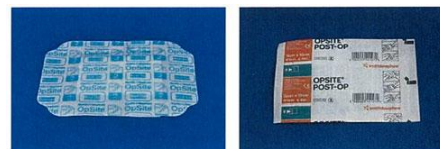
● 手袋



▲検査・検診・処置用

● 固定・保護

● 消毒・洗浄・創傷処置



▲ドレッシング

● その他

● 滅菌関連

● 廃棄 (廃棄容器)

● 切開・切除

● 生検・採取

● 呼吸・

麻酔器管理

● 血糖測定

● 気管切開

● 感染対策

● 圧迫・固定

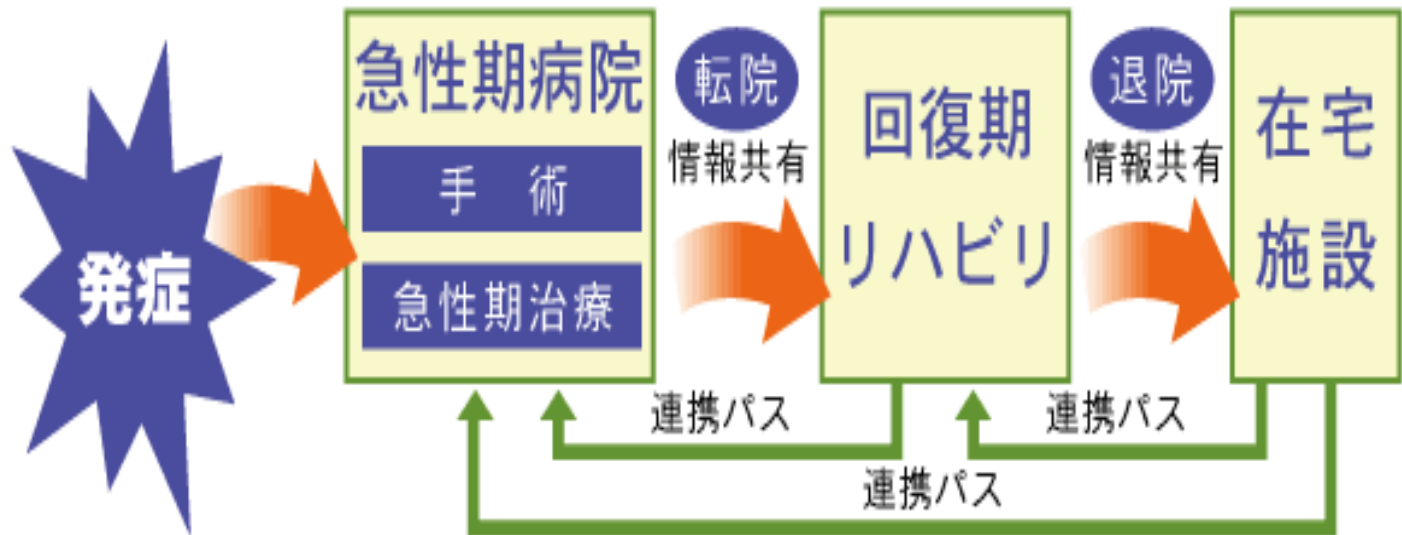
・サポート

● バイト

ブロック

● エアウェイ

②地域連携クリティカルパス



患者氏名

指示医署名:

指示受け看護師署名:

| 項目 | 時間 | 入院 | 前日 | 当日 | 1日目 | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 5日目 | 6日目 | |
|-----------------|----|--|---|--|---|---|---|----------------------------------|-------------------------------|---|--|
| 達成目標 | | #1 胃瘻創製に伴なう合併症(出血,創感染,肺炎等)がない。 #2 胃瘻チューブからの注入に滞りない #3 家族が胃瘻注入手技を習得し、瘻孔部のケアを理解する。 | | | | | | | | | |
| 治療・処置・薬剤・リハビリ | | | フルマリンキット1g×2本 | フルマリンキット1g×2本 ポタコールR600ml×2本 ソルデム3A500ml×2本 | フルマリンキット1g×2本 ポタコールR600ml×2本 ソルデム3A500ml×2本 | フルマリンキット1g×2本 ポタコールR600ml×2本 ソルデム3A500ml×2本 | フルマリンキット1g×2本 ポタコールR600ml×1本 ソルデム3A500ml×2本 | ソルデム3A500ml×2本 ソルデム3A500ml×1本 | | | |
| 検査 | | 血算・血液型・生化学・腹レントゲン 心電図 咽頭培養 | | 血算 RBP, TTR, CRP | | | | RBP, TTR, CRP | | RBP, TTR, CRP | |
| 活動・安静度 | | フリー | | ベッド上安静 | フリー | フリー | フリー | フリー | フリー | フリー | |
| 栄養(食事) | | 入院前に同じ | 絶飲食 | 絶飲食 | 水100ml × 3 | 水200ml × 3 濃厚流動食 100ml × 3 | 水300ml × 3 濃厚流動食 200ml × 3 | 水300ml × 3 濃厚流動食 300ml × 3 | 水300ml × 3 濃厚流動食 400ml × 3 | 水300ml × 3 濃厚流動食 400ml × 3 | |
| 栄養ケアマネジメント | | 栄養アセスメント スクリーニング | 身長・体重 TSF・AC・AMC | | | | | | | TSF・AC・AMC 評価:(改善・不変・悪化) | |
| 清潔 | | オムツ又はポータブルトイレ | オムツ又はポータブルトイレ | 清拭 | 清拭 | 清拭 | 清拭 | 清拭 | 清拭 | 清拭 | |
| 排泄 | | オムツ又はポータブルトイレ | オムツ又はポータブルトイレ | | | | | | | | |
| 教育・指導(栄養・服薬)・説明 | | 胃瘻の適応・方法・合併症とその対策 入院時オリエンテーション 内服薬確認・継続 承諾書確認 入院診療計画書 内服継続 | 内服継続 | 内服中止 | 内 | | | | | 内服継続 | |
| 観察 | | 体温() () () 脈拍() () () 血圧() () () SPO ₂ () () () | 体温() () () 脈拍() () () 血圧() () () SPO ₂ () () () | 体温() () () 脈拍() () () 血圧() () () SPO ₂ () () () 創状態() () () 喀痰() () () | 体温() () () 脈拍() () () 血圧() () () SPO ₂ () () () 創状態() () () 喀痰() () () 下痢() () () 嘔吐() () () 尿量() () () | | | | | 体温() () () 脈拍() () () 血圧() () () SPO ₂ () () () 創状態() () () 喀痰() () () 下痢() () () 嘔吐() () () 尿量() () () | |
| 記録 | | | | | | | | | | | |
| バリエーション | | 有・無 深夜 日動 準夜 | 有・無 深夜 日動 準夜 | 有・無 深夜 日動 準夜 | 有・無 深夜 日動 準夜 | 有・無 深夜 日動 準夜 | 有・無 深夜 日動 準夜 | 有・無 深夜 日動 準夜 | 有・無 深夜 日動 準夜 | 有・無 深夜 日動 準夜 | |
| 担当看護師署名 | | | | | | | | | | | |

クリティカルパスは患者さんにも好評
疾患別に作る標準診療計画



院内のクリティカルパスは多職種で作る

- 日本医療マネジメント学会
主催パス実践セミナー
- グループに分かれて疾病を
選んでパスを作成する
- 医師、看護師、薬剤師など
が参加
- クリティカルパスはチーム
医療の設計図
- 作成体験からチーム医療を
学べる



2010年5月1日国際医療福祉大学

2006年4月診療報酬改定 地域連携クリティカルパスの新規点数と運用

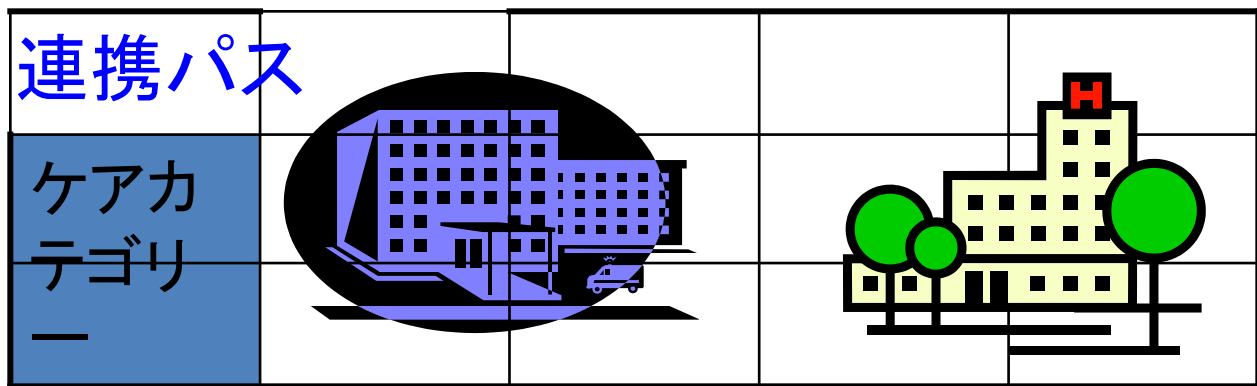
- 地域連携クリティカルパスを相互に交わす
- 複数の医療機関
- 定期的な会合



定期的な会合

急性期病院

リハビリ病院



有床診療所
でもOK

地域連携診療計画管理料
1500点



地域連携診療計画退院時指導料
1500点



がん診療連携拠点病院等を中心とした連携の評価

2010年
診療報酬改定



計画策定病院

750点

がん診療連携拠点病院等

がんの治療目的に初回に入院した患者に対して、地域連携診療計画に基づく個別の患者ごとの治療計画を作成。患者に対して、退院後の治療を地域の医療機関と連携して行うことを説明する。



計画に基づき、外来における専門的ながん診療を提供。

がん治療連携指導
(情報提供時)

診療情報提供

がん治療連携計画策定料(退院時)

紹介

あらかじめがんの種類や治療法ごとに治療計画を策定し連携医療機関と共有

計画策定病院で作成された治療計画に基づき、外来医療、在宅医療を提供する。また、計画に基づき、適切に計画策定病院に対して適切に患者の診療情報を提供する。



連携医療機関

300点

200床未満の病院
診療所

がんの
地域連携

⇒主治医2人制度

かかりつけ医

情報交換

がん診療連携
拠点病院

外来治療



入院治療

がん診療連携
拠点病院



東京都の医療連携手帳

5大がん(胃、大腸、乳、肺、肝がん)＋前立腺がん
地域連携クリティカルパス



東京都医療連携手帳を 利用される方へ

—かかりつけ医を持ちましょう！—

○ この手帳に対するご意見

「東京都医療連携手帳」に対するご意見がありましたら、下記までお寄せください。

E-mail : path@kok.jp

FAX : 03 (5388) 1438

(東京都がん診療連携協議会クリティカルパス部会事務局)

郵送 : 〒163-8001 東京都西新井2-8-1

東京都福祉保健局医療政策部医療保険課がん対策係



東京都医療連携手帳

ご意見がございましたら下記にお寄せ下さい

E-mail: path@clck.jp

F A X: 03 (5388) 1438

郵 送: 〒163-8001

東京都新宿区西新宿 2-8-1

東京都福祉保健局医療連携部

健康政策課がん対策係



連携手帳とは

乳がんの手術・治療を受けられた方は、手術後 10 年間にわたり定期検査を受けることが望めます。この冊子の 7～14 ページに定期検査の予定・記録をまとめてあります。

乳がん治療後は、そう高い可能性があるとはいえませんが、再発ならびに対側乳房への新規乳がんの発生などを定期的に見ることが必要です。

初期治療が終了した時点で、かかりつけの病院・医院（かかりつけ医療機関）で定期的に検査を行ってもらい、処方や体調の変化などをみてもらいます。

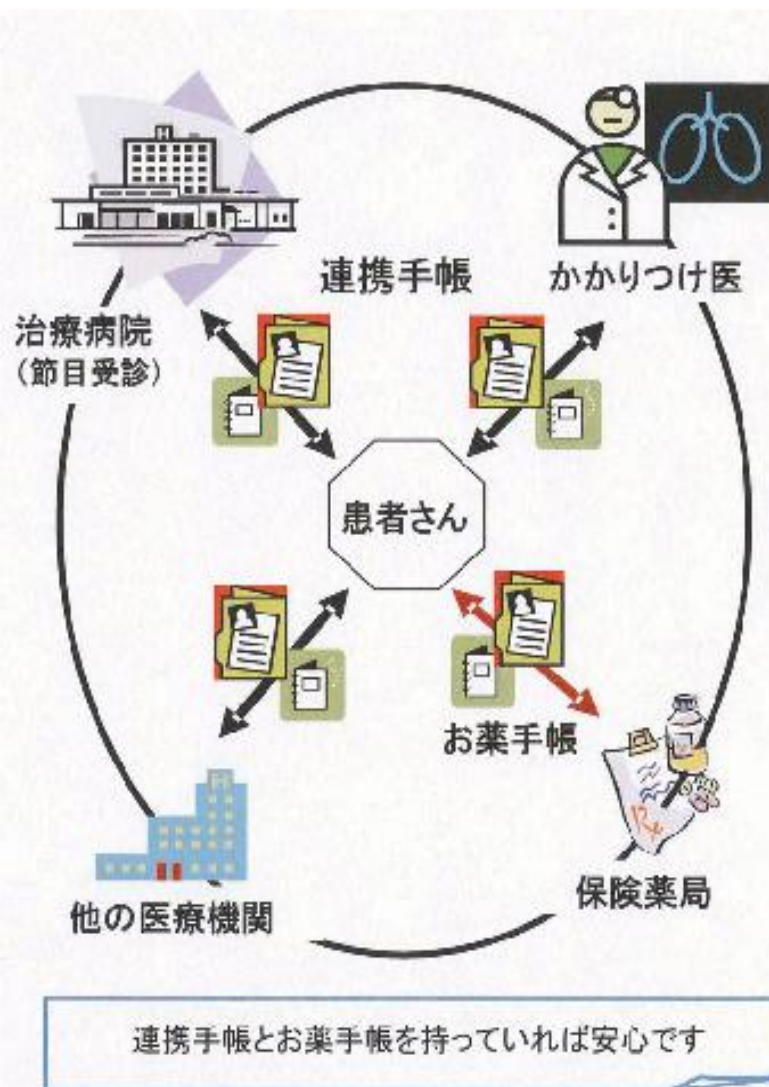
原則的に 1 年に 1 回は手術を受けた病院（手術病院）を受診し、それ以外の時はかかりつけの医療機関を受診してください。

かかりつけの医療機関での診察の結果、精密検査が必要と判断された場合は、その時点で手術病院を受診して頂くことになります。

また乳がん以外に、自治体で行われる検診・健康診断などは必ずお受けください。

東京都医師会
東京都がん診療連携協議会
東京都福祉保健局

連携手帳を用いた診療の流れ



| |
|--------------------------------------|
| お名前 |
| 生年月日 明・大 _____年 _____月 _____日 昭・平 |
| 身長 _____ cm 体重 _____ kg |
| かかりつけ医療機関 |
| 施設名（スタンプ可） |
| ID |
| 担当医 |
| 連携開始日 平成 |
| 手術をうけた病院 |
| 施設名（スタンプ可） |
| ID |
| 担当医 |
| 治療開始日 平成 |
| かかりつけ薬局 |
| （スタンプ可） |

既往歴および現在治療中の病気

| |
|----------------|
| 既往歴および現在治療中の病気 |
|----------------|

アレルギー（薬、食べ物等）

| |
|---------------|
| アレルギー（薬、食べ物等） |
| |
| |
| |
| |
| |

内服薬

（シール貼り付けも可。お薬手帳があれば記入はいりません。）

| |
|-------------------------------|
| 内服薬 |
| （シール貼り付けも可。お薬手帳があれば記入はいりません。） |

手術記録

閉経状況

(前 ・ 後 ・ 不明)

病期

T ____ N ____ M ____

Stage _____

手術日

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

手術術式

病理

組織型 _____

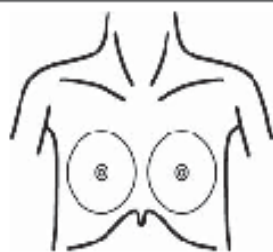
pT _____ cm

n ____ / ____

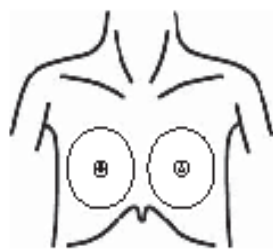
ER ____ PgR ____ HER2

ly ____ NG ____

断端 (陰性・陽性)



<術前所見>



<術後所見>

備考

放射線療法

部位

総線量・回数

期間 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 ~ 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

備考

化学療法

内容 (レジメン名・薬剤名・投与量 (/m²)・回数)

期間 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 ~ 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

備考

内分泌治療

内容

投与開始日 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

予定期間

備考

その他特記事項 (退院時)

クレアチニン値 ____ mg/dl

| | 7年6か月 | 8年 (手術病院にて) | 8年6か月 | 9年 (手術病院にて) | 9年6か月 | 10年 (手術病院にて) |
|-----------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 受診年月日 | / / | / / | / / | / / | / / | / / |
| 診察 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 乳房 US / MMG | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ・MMG (US代用可) | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ・US | | <input checked="" type="checkbox"/> | | <input checked="" type="checkbox"/> | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 採血 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 胸部レントゲン | | <input checked="" type="checkbox"/> | | <input checked="" type="checkbox"/> | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 婦人科 (TAM 内服中のみ) | | <input checked="" type="checkbox"/> | | <input checked="" type="checkbox"/> | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 骨密度 (AI 内服中のみ) | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 内服確認 (ホルモン剤) | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| LH-RH 注射施行日 | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 連携元 <input type="checkbox"/> 連携先 <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 連携元 <input type="checkbox"/> 連携先 <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 連携元 <input type="checkbox"/> 連携先 <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 連携元 <input type="checkbox"/> 連携先 <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 連携元 <input type="checkbox"/> 連携先 <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 連携元 <input type="checkbox"/> 連携先 <input type="checkbox"/> その他 |
| コメント | | | | | | |
| 〔連携元：手術病院 連携先：かかりつけ医療機関〕 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| サイン | | | | | | |

8・9年目に行ったその他検査(任意)・その他備考
CT・骨シンチグラフィ・腹部 US・その他 ()

10年目に行ったその他検査(任意)・その他備考
CT・骨シンチグラフィ・腹部 US・その他 ()

これ以後は1年に1回
乳房の定期的検査をお受けください。

港区医師会がん連携パス説明会

- 2010年9月28日
 - 港区医師会でがん連携パス説明会を開催
 - 地域連携担当理事の臼井先生
 - 地方厚生局への登録の手続きなどについて
 - 意見交換



港区医師会地域連携担当理事
臼井先生

みなとe連携パス

みなとe
連携パス

みなと-e-連携パス

見て下さいね！

<http://medicalnet-minato.jp/peg/>



臼井 一郎先生 港区医師会理事

TS1取り扱い薬局(港区)



| | |
|----|--------------|
| 1 | 芝口薬局 |
| 2 | 日生薬局三田店 |
| 3 | 中川薬局 |
| 4 | 三田薬局 |
| 5 | わかば薬局虎の門 |
| 6 | 日生薬局虎ノ門店 |
| 7 | ご当地の虎ノ門前薬局 |
| 8 | あおい調剤薬局 |
| 9 | ライオン薬局 |
| 10 | さくら薬局虎ノ門店 |
| 11 | 若葉薬局梶が谷店 |
| 12 | 日生薬局2号店 |
| 13 | 伯山堂薬局虎の門店 |
| 14 | 日本調剤虎ノ門薬局 |
| 15 | キリン薬局 |
| 16 | セントラル薬局 |
| 17 | すぎの木薬局西新橋店 |
| 18 | 日生薬局御成門店 |
| 19 | くすり箱薬局 |
| 20 | あけぼの薬局西新橋店 |
| 21 | 日本調剤御成門薬局 |
| 22 | さくら薬局西新橋店 |
| 23 | メディトピア新橋薬局 |
| 24 | 恵堂薬局 |
| 25 | 鈴木胃腸消化器クリニック |
| 26 | セレンクリニック |
| 27 | オーベル薬局高輪店 |
| 28 | 薬局桑山清心堂 |
| 29 | |
| 30 | |

| | |
|----|-----------------|
| 1 | |
| 32 | 北里メディカルサービス |
| 33 | 梅花堂薬局 |
| 34 | 乃木坂薬局 |
| 35 | あさひ薬局高輪店 |
| 36 | 薬局アポック赤坂店 |
| 37 | 芝浦薬局 |
| 38 | バンビー薬局 |
| 39 | バンビー薬局田町店 |
| 40 | 白金中央薬局 |
| 41 | あすか薬局 |
| 42 | 薬局麻布十番 |
| 43 | スリーアイ薬局 |
| 44 | 麻布薬局 |
| 45 | 青山大師堂薬局 |
| 46 | タマギク薬局 |
| | 白金台薬局 |
| 48 | イコマ薬局白金台店 |
| 49 | 子安薬局六本木店 |
| 50 | 北村薬局(紅白会) |
| 51 | 調剤薬局ツルハドラッグ白金台店 |
| 52 | サンドラッグ広尾薬局 |
| 53 | 日本調剤麻布十番薬局 |
| 54 | 薬局トモズ六本木ヒルズ店 |
| 55 | バンビー薬局ニュー新橋ビル店 |
| 56 | ミツバ薬局 |
| 57 | |

地域連携パスに薬局・薬剤師も 参加しよう



がん連携パス、認知症連携パス、
脳卒中連携パスなど

がん化学療法と薬薬連携

- 弘前大学附属病院で実施した薬局薬剤師を対象としたアンケート
 - 約半数ががん化学療法に関して患者さんから質問を受けたことがあり、なかでも副作用に関する内容がもっとも多かった。
- 患者さんへの指導時に患者情報の不足と感じている薬剤師も多い
 - 「告知の有無」「病名」「治療計画」「投与スケジュール」「副作用」「検査値」の順



照井 一史 先生
弘前大学医学部附属病院薬剤部

● 弘前大学外来化学療法室で作成したシール

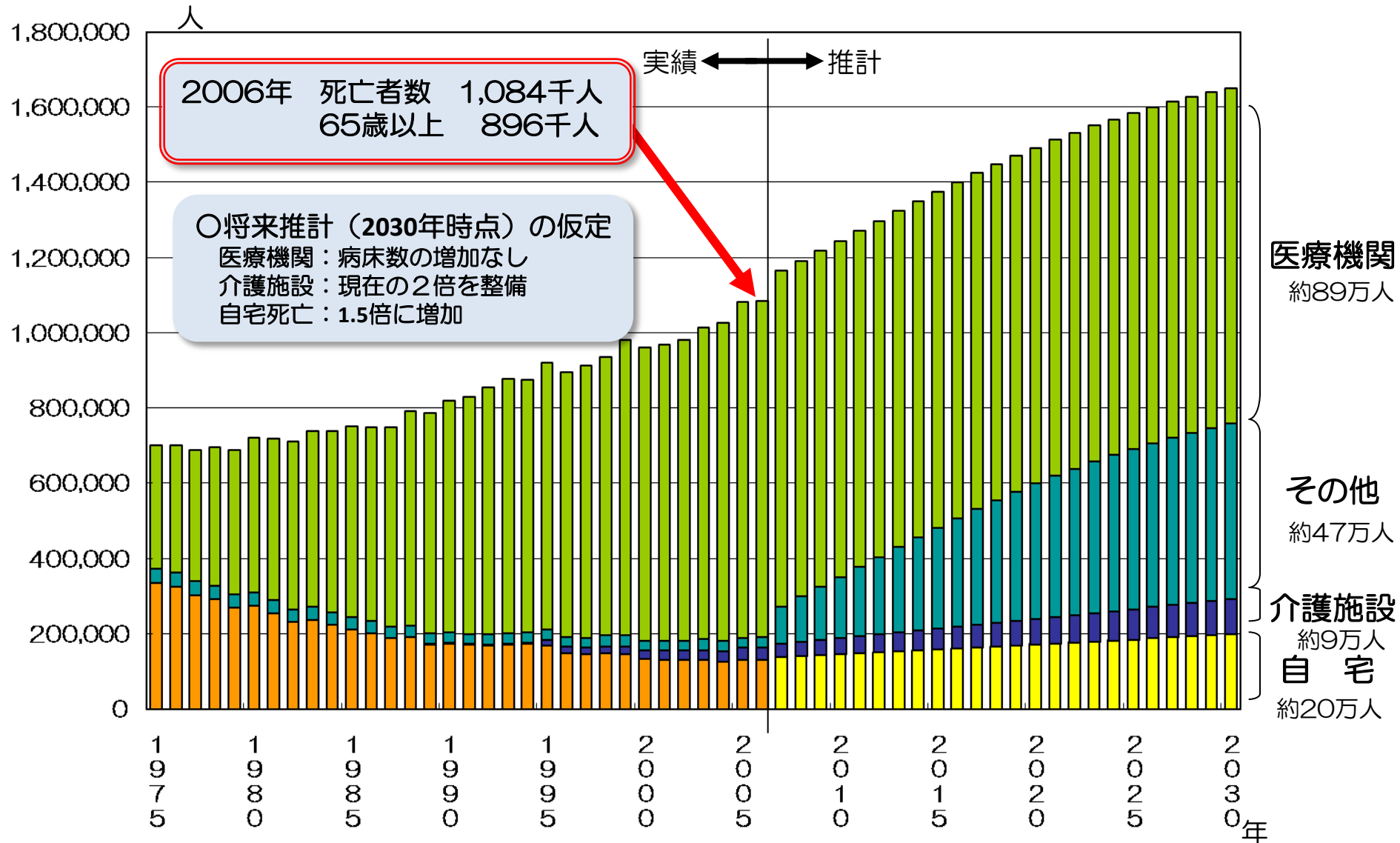
| | | |
|---------------------------------------|--------------------------|--------|
| 内科 | 氏名 | _____ |
| 実施日: 2007/08/03 | 正常値 | |
| 白血球: 4560 / μ L | 4000~9000/ μ L | |
| ヘモグロビン 9.5 g/dL | 男14~18g/dL 女12~16g/dL | |
| 血小板: 12.3 万/ μ L | 12万~41万/ μ L | |
| 治療法 | バクリタキセル/カルボプラチン療法 (TC療法) | |
| Rp | 薬品名 | 指示量 |
| ① | 塩酸グラニセトロン注射液 | 100 mL |
| ② | ファモチジン | 20 mg |
| ③ | デキサメタゾン | 20 mg |
| ④ | バクリタキセル | 120 mg |
| ⑤ | カルボプラチン | 650 mg |
| 備考 | | |
| 弘前大学医学部附属病院 薬剤部 外来化学療法室 | | |
| 緊急時連絡先(代表):0172-33-5111 (内線4476/4435) | | |

告知患者に限定して、患者情報が記載されたシールを手帳に貼っている。

パート5

在宅終末期ケア連携とICT

死亡場所別、死亡者数の年次推移と将来推計



【資料】
2006年(平成18年)までの実績は厚生労働省「人口動態統計」
2007年(平成19年)以降の推計は国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2006年度版)」から推定

※介護施設は老健、老人ホーム 36

病院死には病床が足りない 2030年団塊世代47万人の 「死に場所」が不足



富士の樹海林

地域で支える終末期ケア連携の 仕組みが必要

2030年団塊世代47万人の
「死に場所」が不足

在宅お看取りパスが必要

- 在宅でのお看取り環境整備が必要
- 家族のお看取り経験が減っている
- 在宅でお看取りをするための患者家族用教育パス
- お看取りくん
 - 遠隔バイタルサインモニター
- 170万人大死亡時代への準備

新川医療連携懇話会

- 終末期医療における地域連携クリティカルパスの試み
 - 富山県新川(にいかわ)医療圏(魚津市、黒部市、入善町、朝日町)で、2005年より開業医が中心となって、在宅終末期医療や栄養管理などの検討のために「新川医療連携懇話会」を立ち上げた
 - ターミナルケアでは単独の医師による24時間管理体制では、医師の疲弊が激しいので、複数主治医制をとること
 - 在宅医師同士の連携ミスによる医療事故の防止と回避、病院との連携確保等のために



中川先生

緩和ケア 在宅ねと

2009.11

8

ふろんと・ふえーす

中川彦人さん

解説

退院時共同指導料(退院前カンファレンス)について

緩和ケア キーポイント・チェック

在宅で患者自らが痛みをコントロールする鎮痛法PCA

Today's Viewpoint

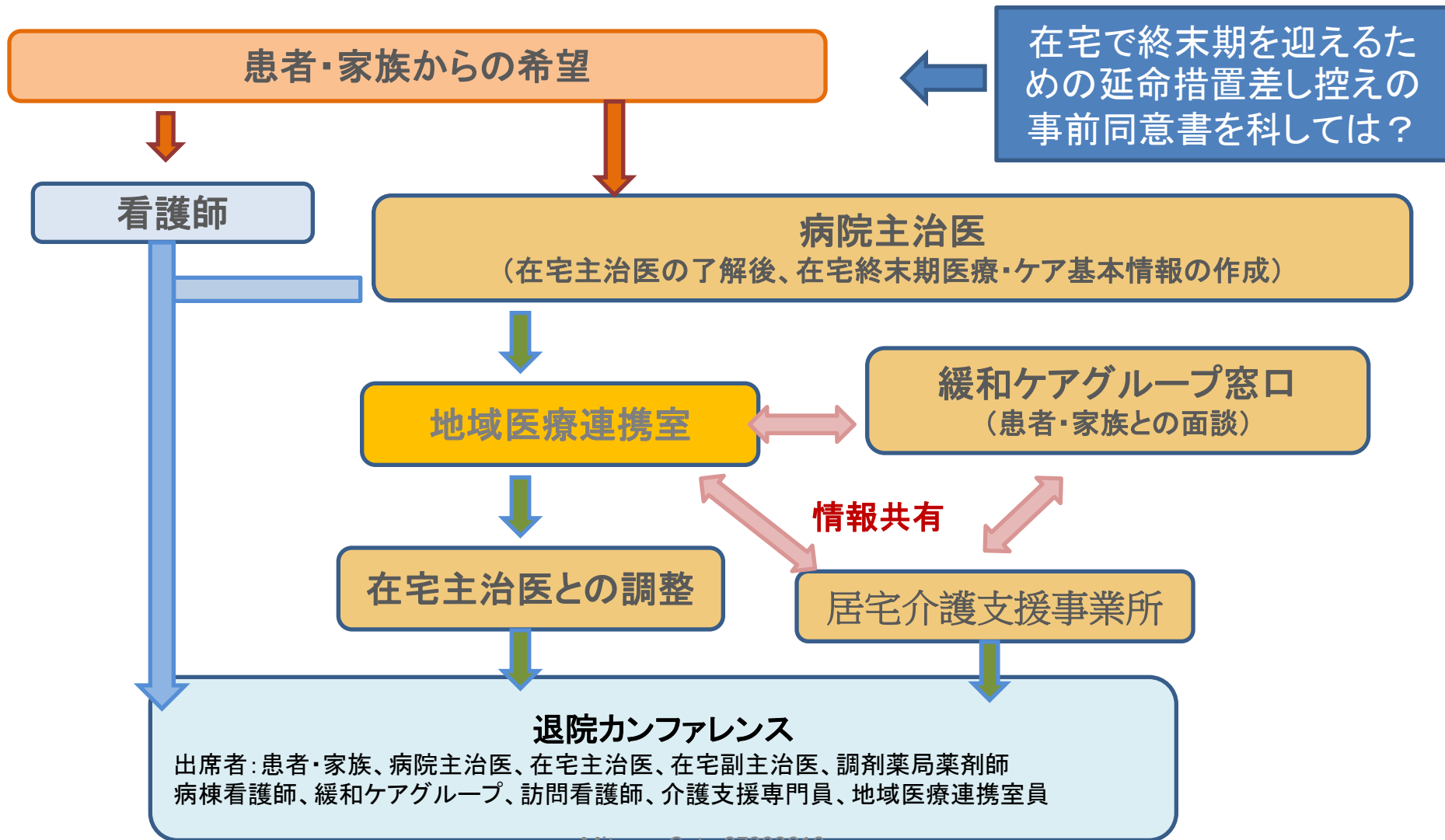
緩和ケアへの道程

新川地域在宅終末期医療

- 新川圏域の概要
 - 2市2町(魚津市、黒部市、入善町、朝日町)
 - 人口約13万人
- 連携病院: 4公的病院
 - ①富山労災病院、②黒部市民病院、③あさひ総合病院、④富山県立病院
- 主な在宅対応医療機関
 - 5病院、22診療所、29調剤薬局、6訪問看護事業所
- 連携パス導入の経緯等
 - ① 在宅での終末期医療のニーズ増加
 - ② かかりつけ医単独での医療限界
 - ③ 平成17年4月新川圏域8診療所からなる協議会設立
 - ④ 新川厚生センター・在宅医療部会を通じて在宅医療体制推進



病院入院中・退院前 在宅終末期連携パスの運用フロー



新川地域在宅終末期医療

● 運用基準・留意点

- 対象者：がん等で余命6カ月以内と想定される患者
- 在宅医の選択：患者家族の希望第1優先、往診移動時間30分以内（原則）
- 診診連携（主治医・副主治医）による在宅主治医の弊害防止
- 病診連携における役割分担
- 多職種チーム診療による介入
- 様式・書式の統一

様式の統一

在宅終末医療・ケア基本診療情報様式

| | |
|--|---|
| （患者名） [] （生年月日）年 [] 月 [] 日生 [] 歳 [] 里・女 [] | |
| 住所 [] TEL [] | 臨床経過： [] |
| 主たる介護人： [] 続柄 [] TEL [] FAX [] | 治療歴：1. 手術 有 ([]) 無 ([]) 2. 抗癌剤 有 ([]) 無 ([]) |
| かかりつけ医（主治）： [] TEL [] FAX [] | 在宅移行時における病状の問題点 [] |
| 副かかりつけ医（主治）： [] TEL [] FAX [] | 予後に影響を与える因子 [] |
| 副かかりつけ医（主治）： [] TEL [] FAX [] | 臓器不全（心、腎、肝、他 []） |
| 連携病院：病院 TEL [] FAX [] | 栄養状態： [] |
| 連携病院サポート医：科 [] | 出血（消化管 []、他 []） |
| 担当看護師 [] | 腹水： [] |
| 在宅介護支援所： [] | 他： [] |
| 介護保険 無 [] 有 [] 要介護 1 [] 2 [] 3 [] ケアマネージャー名 [] | 予後予測： [] ヶ月 |
| 家族構成（介護相談窓口および決定権者を記入下さい） [] | 連携病院への通院：必要 [] 毎、不要 [] |
| [] 終いに対する対応 | インフォームドコンセント [] |
| 終いに対する対応（本人・家族） [] | 告知：本人、家族（ []) 告知について |
| 1. 最後まで自宅 [] | 内容 [] |
| 2. 最後は連携病院 [] | 本人： [] |
| 3. 状況により判断 [] | 家族： 告知理解度について [] |
| 緊急連絡先 [] | 精神的サポート 要 [] 不要 [] |
| かかりつけ医→副かかりつけ医 1→副かかりつけ医 2→救急外来 [] | 告知理解度 [] 療養から死への不安点 [] |
| 診断：主 [] 癌 [] 転移： [] | 本人：十分 [] 不十分 [] |
| 副 1. [] 2. [] | 家族：十分 [] 不十分 [] |
| 3. [] 4. [] | 療養方針 [] |
| 既往歴： [] | [] |

1. 全身状態の管理

- PS (performance status) 0、1、2、3、4 []
- 栄養：経口 [] 非経口 []
- 留置カテ：有 ([])、無 []
- 排泄：自力 []、介助 []
- 褥瘡：有 [] 無 []
- 口腔ケア：有 [] 無 []
- その他のケア内容 []

2. 投薬内容 [] **疼痛管理について**

3. 疼痛管理 []

無 [] 有 [] 投与経路 経口 [] 経静脈 [] 座剤 [] 他 []

麻薬 []

NSAIDs []

訪問看護（指導ならびに実行状況） []

- 口腔ケア 有 [] 無 []
- 入浴 自宅 [] サービス（自宅 デイ） []
- 褥瘡処理 有 [] 無 []
- 清拭 指導 [] 家族 [] ヘルパー []
- 他 []

介護 []

- ヘルパー 有 [] 無 []
- デイサービス 有 [] 無 []

入力者 []

自動入力 []

病院担当医 []

病院担当Ns []

緩和グループ担当者 []

ケアマネージャー []

在宅かかりつけ医 []

様式の統一

在宅療養実施計画書様式

医療機関用

患者・家族用

作成日 年 月 日
 _____ 様 歳 男・女

在宅介護人： _____ 続柄 _____

かかりつけ医（主治医） _____ TEL _____

副主治医 1 _____ TEL _____

副主治医 2 _____ TEL _____

連携病院 TEL _____

連携病院サポート医 _____

ケアマネージャー名 _____ TEL _____

訪問看護事業所名 _____ 担当 _____

TEL _____

訪問介護事業所名 _____ 担当 _____

TEL _____

薬局名
 アウトカム・方針

テキストで自由記載（テンプレート使用可）
 テンプレート例
 疼痛をできるだけ抑制する
 褥瘡を悪化させない

医師コールの基準

テキストで自由記載（テンプレート使用可）
 テンプレート例
 呼びかけに応じない
 呼吸をしていない

_____ ケアマネージャー入力
 氏名

_____ かかりつけ医が入力

作成日 年 月 日
 _____ 様 歳 男・女

在宅介護人： _____ 続柄 _____

連絡先

（下記の医師コールの基準にあてはまるようになった場合や、その他、状況が

悪化し連絡が必要と思われる場合は下記連絡先の 1 に連絡し、連絡が取れない

場合や、その先生の指示があれば、以後 2、3、4 の順に連絡してください。

1 かかりつけ医（主治医） _____ TEL _____

2 副主治医 1 _____ TEL _____

3 副主治医 2 _____ TEL _____

4 ○○病院 TEL _____

連携病院サポート医 _____

ケアマネージャー名 _____ TEL _____

訪問看護事業所名 _____ 担当 _____

TEL _____

訪問介護事業所名 _____ 担当 _____

TEL _____

薬局名
 アウトカム・方針

テキストで自由記載（テンプレート使用可）
 テンプレート例
 疼痛をできるだけ抑制する
 褥瘡を悪化させない

医師コールの基準

テキストで自由記載（テンプレート使用可）
 テンプレート例
 呼びかけに応じない
 呼吸をしていない

様式の統一

在宅診療報告書様式（連携カルテ）

| 開始日 _____ 様 4 w | | | | | | _____ 様 8 w | | | | | |
|------------------|-----|-----|-----|-----|-----|------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 日付 | 開始日 | 1W | 2W | 3W | 4W | 日付 | 5W | 6W | 7W | 8W | 9W |
| 項目 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 項目 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 |
| 問題点（特記事項） | | | | | | 問題点（特記事項） | | | | | |
| （一般状態）記載者 | | | | | | （一般状態）記載者 | | | | | |
| PS | | | | | | PS | | | | | |
| 栄養状態 | | | | | | 栄養状態 | | | | | |
| 精神状態 | | | | | | 精神状態 | | | | | |
| 身体所見 | | | | | | 身体所見 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| （投薬）記載者 | | | | | | （投薬）記載者 | | | | | |
| 疼痛管理 | | | | | | 疼痛管理 | | | | | |
| 麻薬 | | | | | | 麻薬 | | | | | |
| NSAIDS | | | | | | NSAIDS | | | | | |
| 他 | | | | | | 他 | | | | | |
| 補液 | | | | | | 補液 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| (検査) | | | | | | (検査) | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| (病状説明) | | | | | | (病状説明) | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 他 | | | | | | 他 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| （訪問看護）記載者 | | | | | | （訪問看護）記載者 | | | | | |
| 食事 | | | | | | 食事 | | | | | |
| 排泄 | | | | | | 排泄 | | | | | |
| 清拭 | | | | | | 清拭 | | | | | |
| 入浴 | | | | | | 入浴 | | | | | |
| 精神面 | | | | | | 精神面 | | | | | |
| 他 | | | | | | 他 | | | | | |

| 項目 | 11W 3月25日 | 11V 3月26日 | 12W 3月28日 |
|-----------|--------------|---------------|---------------------|
| 問題点(特記事項) | 経口摂取量減少 | 本日IVHに注入ホアア導入 | 意識レベル低下(TEL前) PM-7時 |

| (一般状態) 記載者 | 上田 | 藤田 | 上田 |
|------------|-------|-------|-------------------------------------|
| PS | 4 | 4 | 4 |
| 栄養状態 | Poor | Poor | Poor |
| 精神状態 | 正常・安定 | 正常・安定 | 正常・安定 |
| 身体所見 | 腹水・浮腫 | 腹水・浮腫 | 腹水・浮腫 腹水(CT) 浮腫(CT) 尿300ml |

| (投薬) 記載者 | 藤田 | 上田 | 藤田 |
|----------|---|--|---|
| 疼痛管理 | 疼痛+NSAIDs | | 疼痛+NSAIDs |
| 麻薬 | オキシコドン(5)IT | | オキシコドン(5)IT |
| NSAIDs | ロキソニン31合 | | ロキソニン31合 |
| 他 | | | |
| 補液 | ①ホアアト500ml オキシコドン注 100ml/1000ml ②ホアアト500ml オキシコドン注 100ml/1000ml ③ホアアト500ml オキシコドン注 100ml/1000ml | ①ホアアト500ml オキシコドン注 100ml/1000ml ②ホアアト500ml オキシコドン注 100ml/1000ml | ①ホアアト500ml オキシコドン注 100ml/1000ml ②ホアアト500ml オキシコドン注 100ml/1000ml ③ホアアト500ml オキシコドン注 100ml/1000ml |
| (検査) | IVHホアト(1F) 自覚病下 | IVHホアト(1F) 自覚病下 | IVHホアト(1F) ホアアト注入 100ml/h |
| (病状説明) | | | |
| 他 | NS上服後と IVHホアトの服用法 を確認(理路) | 添付添付 31合 理路 | BD118/92 P84 KT 369 呼吸数20回/分 |

| (訪問看護) 記載者 | 上田 | 上田 |
|------------|--|--|
| 食事 | 水分摂取量UP | 果物、ビーチ摂取 |
| 排泄 | 排便364 | 排便364 |
| 清拭 | 1000ml | 1000ml |
| 入浴 | | 1000ml 有効 |
| 精神面 | 安定 | 安定 |
| 他 | 体温37.0℃ 血圧100/60 脈拍70 呼吸数20 SpO2 98% | 体温37.0℃ 血圧100/60 脈拍70 呼吸数20 SpO2 98% |

| (訪問介助) 記載者 | | |
|------------|--|--|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| 項目 | 13W 3月29日 | 14W 3月30日 | 15W 3月31日 | 16W 4月1日 | 17W 4月2日 |
|-----------|--------------|-------------------------------|-------------------------|-------------|-------------|
| 問題点(特記事項) | | 15時血圧80/60 21時低下 経口摂取低下 | 21時一時的に 低下 経口摂取低下 | ← | 17時4時 永眠 |

| (一般状態) 記載者 | 藤田 | ← | ← |
|------------|---------------|---|---------------------------|
| PS | 4 | ← | ← |
| 栄養状態 | Poor | ← | ← |
| 精神状態 | 正常 | ← | ← |
| 身体所見 | 腹水・浮腫 尿量減少 | ← | 20時夜3時で 永眠(理学療法 入室) |

| (投薬) 記載者 | 上田 | 藤田 | ← | ← |
|----------|--|---|---------------------------------------|---|
| 疼痛管理 | | | | |
| 麻薬 | | | | |
| NSAIDs | | | | |
| 他 | | | | |
| 補液 | ①オキシコドン注 100ml/1000ml ②オキシコドン注 100ml/1000ml ③オキシコドン注 100ml/1000ml | ← | ← | 主治医藤田の 小児科内診で の看護に 対応して 経過中 にいた。 |
| (検査) | IVHホアト(1F) ホアアト注入 100ml/h | ← | ← | IVHホアト(1F) ホアアト注入 100ml/h (40ml/h) |
| (病状説明) | | 家族から 「再入院 してほしいと 希望あり」 とTELあり | 入院日14日20 AM11時 にTELあり とTELあり | 20時血圧80/60 21時下投 にTELあり とTELあり とTELあり とTELあり とTELあり |
| 他 | | 添付添付 記載 | 説明 | 説明あり |

| (訪問看護) 記載者 | 上田 |
|------------|--|
| 食事 | ビーチ- 水分少量摂取 |
| 排泄 | 排便364 |
| 清拭 | 全身清拭 |
| 入浴 | 1000ml 有効 |
| 精神面 | 安定 |
| 他 | 体温37.0℃ 血圧100/60 脈拍70 呼吸数20 SpO2 98% |

| (訪問介助) 記載者 | | |
|------------|--|--|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

出所: 中川彦人

社外スタッフとのチーム作業が **スピードアップ!**

効率よく共同作業ができる

Microsoft®
Office Groove 2007

マイクロソフト オフィス グルーヴ 2007

Microsoft Office

新登場



部長

君にプロジェクト
リーダーを任せるから、社外スタッフと
コミュニケーション
をとってしっかり進
行してくれたまえ!



パートナー
企業
斉藤さん
よろしくね!



中村君

ガンバリます!



パートナー企業
伊藤さん 武藤さん
頑張りよう!



出所: 中川彦人

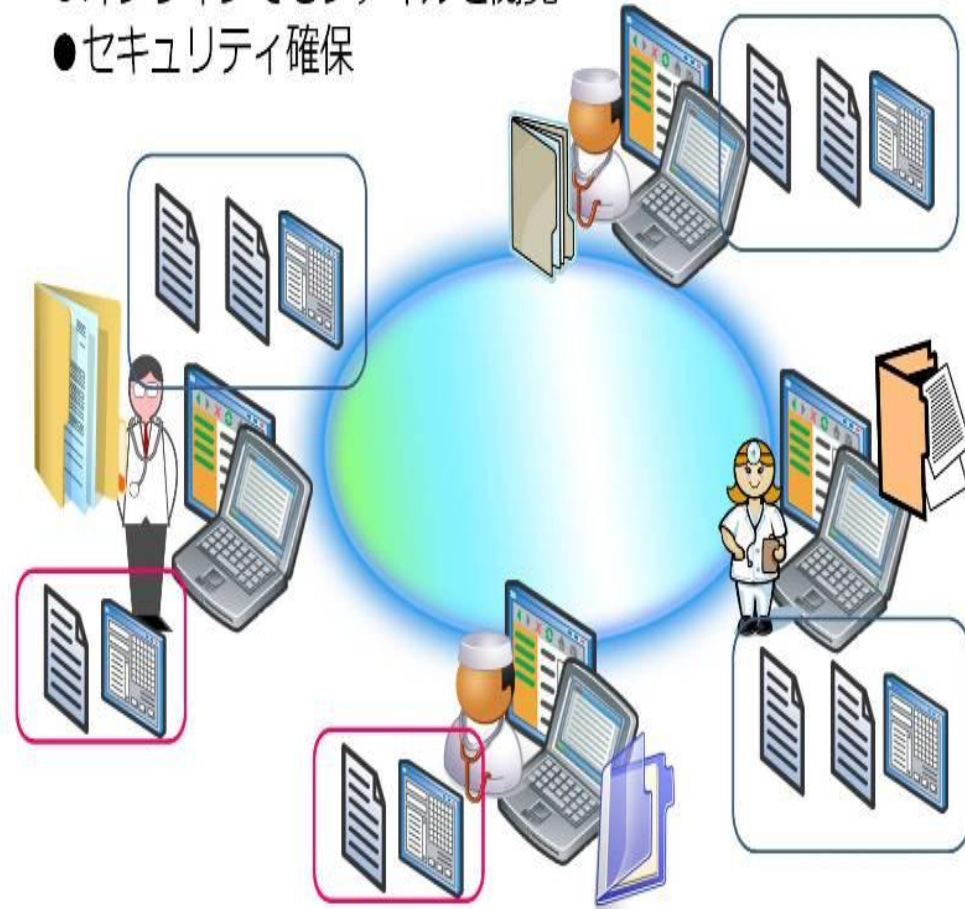
マイクロソフトGroove

Office Groove 2007



- パスのファイルをメンバーで共有して更新
- オフラインでもファイルを開覧
- セキュリティ確保

インターネット接続



※ 今年バージョンアップして
SharePoint Workspace 2010
に商品名変更

ディスカッション

新規作成 ビュー 印刷 削除 返信 返信済み 返信待ち 返信済み 返信待ち 返信済み 返信待ち

| カテゴリ | 件名 | 日付 | 作成者 |
|------|--------------------------------|------------------|--------|
| | PCAポンプの設定について | 2010/01/05 18:13 | 藤岡 照裕 |
| | ファイル(ルート フォルダ)に検査結果と使用薬剤を追加。 | 2010/01/06 12:27 | 藤岡 照裕 |
| | 疼痛管理 | 2010/01/06 12:58 | 千代 英夫 |
| | Re: 疼痛管理 | 2010/01/17 10:47 | 藤岡 照裕 |
| | 在宅療養実施計画書を更新しました。 | 2010/01/06 18:59 | 藤岡 照裕 |
| | 訪問入浴について | 2010/01/08 17:48 | フレンドイー |
| | 排泄介助について | 2010/01/08 18:06 | フレンドイー |
| | 訪問看護の臨時訪問希望について | 2010/01/12 19:16 | 遠藤 幸枝 |
| | PCAポンプのカセット交換回数について | 2010/01/27 12:11 | 見澤 哲郎 |
| | オピオイドの減量について | 2010/02/02 16:46 | 見澤 哲郎 |
| | Re: オピオイドの減量について | 2010/02/02 23:54 | 藤岡 照裕 |
| | Re: オピオイドの減量について | 2010/02/03 17:31 | 遠藤 幸枝 |
| | デュロテックパッチの貼付部位について | 2010/02/02 16:56 | 見澤 哲郎 |
| | 主治医往診を訪問看護に振り替えて欲しいとの希望に対して... | 2010/02/02 22:19 | 藤岡 照裕 |
| | 2月2日撮影の右胸壁腫瘍の画像をアップしました。 | 2010/02/02 22:45 | 藤岡 照裕 |
| | 今後の方針 | 2010/02/04 18:19 | 藤岡 照裕 |
| | Re: 今後の方針 | 2010/02/05 14:59 | 遠藤 幸枝 |
| | PCAポンプのカセットの受け渡しなど取り扱いについて | 2010/02/05 17:20 | 見澤 哲郎 |
| | Re: PCAポンプのカセットの受け渡しなど取り扱いについて | 2010/02/05 18:07 | 藤岡 照裕 |
| | 在宅に要する費用 | 2010/02/08 9:46 | 渡辺俊雄 |

ワークスペース メンバ

- 千代クリニック
 - 千代 英夫
- 川瀬医院
 - 川瀬紀夫
- 富山県立中央病院 地域連携室
 - 地域連携室
- 黒部市民病院 在宅介護支援センター
 - 稲場 智佳子
- シメノドラッグ 黒部薬局
 - 金谷 雅美
- 藤岡医院
 - 藤岡三郎
- ストローハット
 - サポート (ストローハット)
- 中川医院
 - 中川 彦人
- 黒部訪問看護ステーション
 - 遠藤 幸枝
- 富山県立中央病院
 - 渡辺俊雄
- 藤が丘クリニック
 - 藤岡 照裕
- メープル薬局
 - 見澤 哲郎

件名 疼痛管理
 カテゴリ
 作成者: 千代 英夫 作成日時: 2010/01/06 12:58

ステロイドの併用はどうでしょうか。また、抗生剤投与の必要性はないか。

薬剤師の処方
 提案が活発に
 なった!

ワークスペースに招待: 受信者の追加
 名前または電子メールを入力 送信

チャット
 よく使う機能

現在のビュー: カテゴリ別 ビューのレコード数: 49

ファイル ディスカッション 予定表 画像

194 KB

- 予定表 - Microsoft Office Groove

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) オプション(O) ヘルプ(H) ワークスペース(W)

予定表

新しい予定... 今日 日 週 月

2010年 3月 日単位ウィンドウの表示

| 日曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 |
|-------------------|---|--|--|---|---|-----|
| 2月 28日 | 3月 1日 10:30 訪問介護 13:30 訪問看護 17:30 訪問介護 | 2日 10:30 訪問介護 13:00 訪問介護 16:00 訪問介護 | 3日 10:30 訪問介護 13:30 訪問看護 17:30 訪問介護 | 4日 10:30 訪問介護 13:30 訪問介護 17:00 訪問介護 | 5日 10:00 訪問入浴 11:00 訪問看護 | 6日 |
| 7日 | 8日 10:30 訪問介護 13:30 訪問看護 | 9日 藤岡主治医 訪問診... 10:30 訪問介護 15:00 訪問介護 17:15 訪問介護 | 10日 シメノドラッグ黒部薬局 10:30 訪問介護 13:30 訪問看護 17:30 訪問介護 | 11日 10:30 訪問介護 13:30 訪問介護 17:00 訪問介護 | 12日 10:00 訪問入浴 11:00 訪問看護 14:00 訪問介護 17:30 訪問介護 | 13日 |
| 14日 | 15日 10:30 訪問介護 13:30 訪問看護 17:30 訪問介護 | 16日 10:30 訪問介護 15:00 訪問介護 17:15 訪問介護 | 17日 10:30 訪問介護 13:30 訪問看護 17:00 訪問介護 | 18日 10:30 訪問介護 13:30 訪問介護 17:00 訪問介護 | 19日 10:00 訪問入浴 11:00 訪問看護 13:30 訪問介護 17:30 訪問介護 | 20日 |
| 21日 13:30 訪問看護 | 22日 | 23日 藤岡主治医 訪問診... 10:30 訪問介護 16:00 訪問介護 | 24日 シメノドラッグ黒部薬局 10:30 訪問介護 13:30 訪問看護 17:00 訪問介護 | 25日 | 26日 10:00 訪問入浴 11:00 訪問看護 13:30 訪問介護 17:30 訪問介護 | 27日 |
| 28日 | 29日 10:30 訪問介護 13:30 訪問看護 17:30 訪問介護 | 30日 10:30 訪問介護 13:00 訪問介護 16:00 訪問介護 | 31日 10:30 訪問介護 13:30 訪問看護 17:30 訪問介護 | 4月 1日 10:30 訪問介護 13:30 訪問介護 17:00 訪問介護 | 2日 10:00 訪問入浴 11:00 訪問看護 14:30 訪問介護 17:30 訪問介護 | 3日 |

ワークスペース メンバ

- 千代クリニック
 - 千代 英夫
- 川瀬医院
 - 川瀬紀夫
- 富山県立中央病院 地域連携室
 - 地域連携室
- 黒部市民病院 在宅介護支援センター
 - 稲場 智佳子
- シメノドラッグ 黒部薬局
 - 金谷 雅美
- 藤岡医院
 - 藤岡 三郎
- ストローハット
 - サポート (ストローハット)
- 中川医院
 - 中川 彦人
- 黒部訪問看護ステーション
 - 遠藤 幸枝
- 富山県立中央病院
 - 渡辺俊雄
- 藤が丘クリニック
 - 藤岡 照裕
- メープル薬局
 - 見澤 哲郎

ワークスペースに招待: 受信者の追加
 -名前または電子メールを入力 送信

チャット

よく使う機能

194 KB

出所: 中川彦人

画像



R0011754s



1/20



ワークスペース メンバ

- 富山県立中央病院 地域...
- 地域連携室
- 藤が丘クリニック
- 藤岡 照裕
- ストローハット
- サポート (ストローハ...
- 中川医院
- 中川 彦人
- 藤岡医院
- 藤岡 三郎
- 川瀬医院
- 川瀬紀夫
- メープル薬局
- 見澤 哲郎
- 富山県立中央病院
- 渡辺俊雄
- 黒部市民病院 在宅介護...
- 稲場 智佳子
- シメノドラッグ 黒部薬局
- 金谷 雅美

ワークスペースに... 受信者の追加
-名前または電子- 送信

チャット

よく使う機能

- ツールの未読通知の無効化
- ツールの追加
- ワークスペースのプロパテ...
- 自分が使用している他のコ...

ファイル 1

ディスカッション

予定表

画像 1



55.6 KB

出所: 中川彦人

Mitsuyo Goto 06072010

ICT化のメリット

あんしん在宅ネットにいかわ

- 1. 患者さまの情報が迅速にかつ適確に得られる。
- 2. 情報の種類が多く情報量も多い。
- 3. 情報がきれいで読みやすい。
- 4. Faxなどの紙媒体に比べ管理しやすい
- 5. 自分が往診や訪問をしていない日でもリアルタイムの情報が得られる
- 6. 連携相手の状況や時間を気にせず情報伝達ができる。
- 7. 稀にしか対応しない副主治医でも適確に情報が得られる。
- 8. 訪問看護や訪問調剤薬局では、訪問前の準備がしやすい。
- 9. ディスカッション機能の利用で、疑問点の解決につながる。
- 10. チーム医療の最大の目的である多職種が同じ目的と意識を持って患者さまに向き合うことができる



あんしん在宅ネットにいかわ
患者さんが亡くなったあとの
デスクンファレンスに発展

2025年へのロードマップ

～医療計画と医療連携最前線～

- 武藤正樹著
- 医学通信社
- A5判 220頁、2600円
- 地域包括ケア、医療計画、診療報酬改定と連携、2025年へ向けての医療・介護トピックスetc
- **4月発売**
- <http://www.igakutushin.co.jp/index1.php?contenturl=book1.php?id=615>



まとめと提言

- ・ 社会保障と税の一体改革は、
2025年へ向けての医療と介護のグランドデザイン
- ・ 医療計画の中で薬局は医療提供施設となっている
- ・ 在宅医療は薬局の次世代モデルのひとつ
- ・ 多職種連携はキーワードは、退院時ケアカンファレンスと
地域連携パス、薬局・薬剤師の参加を！
- ・ 160万人多死亡時代を目前にして、
緩和ケア医療への薬局薬剤師の貢献が求められている